

外務大臣蕪湖へ転電シ天津上海長沙へ暗送セリ
(奉天中継八月十四日后三、三五)

二〇六 八月二十一日(着) 在中国芳沢公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

陝西ノ桐材搬出禁止ニ付外交部へ申入レノ件

第七四三号

本官発漢口宛電報第二二号

貴電第一四〇号ニ関シ

館員ヲ外交部ニ遣ハシ確メシメタルニ桐材抑留ノ理由ハ陝西省ニテハ同治二年以来木材ノ輸出ヲ禁止シアルニ拘ハラズ海關ガ右ノ事情ヲ確メズシテ三連單ヲ発給シタルニ依ルコトニテ外交部ハ省長ヨリノ請訓ニ対シ八月十一日(一)右桐材ヲ買戻スカ(二)今回限り搬出ヲ許可スルカトノ二案ニ付考究ノ上処理スル様回電シタル由当方ヨリ同省ノ木材輸出禁止云々ハ從來ノ実例及条約等ニ顧ミ甚ダ諒解シ難キモ此ノ点ハ暫ク将来ノ問題トシ既ニ発行ノ三連單ニ依ル貨物ニ対シテハ一律搬出ヲ許可ス可キ様至急訓令方要求シタル結果一兩日中ニ省長宛更ニ何分ノ電訓ヲ為スコキ旨約セリ更ニ

スト為ス反運動行ハレタルノミナラス湖北省ノ如キ領事ノ報告ニ依リ既ニ御承知ノ通令尚排日事件絶ヘス要スルニ震災カ全然世間ノ注意ト同情トヲ集メタル結果之ヲ機トシテ大体ニ於テ排日カ一層下火トナレルハ事実ナルモ之カ為該運動カ全然終熄シタルニアラサルハ申迄モナシ次ニ震災カ我国力ニ及シタル影響ニ関シテハ支那人一般ノ感想ハ日本ハ今後暫ク海外ニ対シテ積極的政策ヲ執ル能ハサルヘシト為ス点ニ於テハ大体一致スルカ如キモ之カ為メ日本ノ国力乃至世界的地位カ重大ナル影響ヲ受ケタリトハ思考シ居ラサル如シ又当地方在留外国人ノ一部等ニハ震災ノ結果何等カ日本ノ經濟界ニ多大ノ變動ヲ生シ恐慌ヲ来タスカ如キコトナカルヘキカト想像シ一時彼等ノ間ニ噂ニ上リシコトアリシ模様ナルモ之トテ其当座丈ニシテ間モナク問題トセラレサルニ至リシ模様ニ之アリ新聞紙ノ如キモ此点ニ付論議セルモノ殆トナク尚間島琿春ノ如キ僻遠ノ地方ニアリテハ日本ノ国力減退ニ付甚シキ流言行ハレタル如キモ右ハ一時ノ現象ニ過キサリシモノノ如シ

督促ノ上追テ何分ノ儀電報ス可キモ右不取敢
大臣ニ転電シ青島ニ暗送セリ
(奉天中継八月二十一日前一一、三五)

二〇七 十月九日(発) 在中国芳沢公使ヨリ
伊集院外務大臣宛(電報)

震災ニ伴フ排日運動緩和ノ理由並ビニ震災後
ノ中国官民ノ対日感情ニ関スル観測報告ノ件

第九三六号

貴電第五九九号ニ関シ

各地領事ノ報告ヲ綜合シ震災ノ排日運動ニ及ホシタル影響ヲ見ルニ大体ニ於テ各地ノ排日カ一段ノ緩和ヲ見タルハ疑ナキ所ニシテ右ハ從來内々排日ニ不賛成ナリシモノニ対シテハ公然日本ニ対スル同情表白ノ機会ヲ与ヘ又漸次排日ニ飽キ其運動ノ中止ニ何等カノ口実ヲ求メ居リシ排日団体ニハ好個ノ口実ヲ与ヘタルト同時ニ比較的根強キ排日団体ニ於テモ支那各界及外国ノ強烈ナル同情ニ顧ミ排日運動ヲ差控フルニ至リシカ為メナルヘシ尤モ宜昌漢口上海等ニ於テハ日本救済運動ノ為ニ排日ヲ中止スルカ如キコトアルヘカヲ

三 揚子江流域

二〇八 三月二十一日(発) 在宜昌森岡領事ヨリ
松井外務大臣宛(電報)

揚子江上流地区ノ排日情况報告ノ件

第三七号

長江上游各地ニ於テ五月七日ヲ期シ再ビ排日運動ヲ開始スヘク内々準備中ナル形跡アリ今回重慶ヨリ来レル安昌洋行支配人ノ談ニ依ルニ同地ハ昨年以來引続キ排日熱最盛ニシテ現ニ日本人ノ名義ニテハ一切取引出来ズトノコトニモアリ又当地ニ於テモ昨今市中ヲ往来スル日本人ニ惡罵ヲ発スル支那人多ク且当館ノ門ニ毎早朝来リテ侮辱的落書ヲ為スモノアルヲ以テ小官ヨリ嚴重取締方支那官憲ニ要求中ニテ茲ニ、三ヶ月特ニ警戒ヲ要ス
右ノ事情ナルヲ以テ出来得レバ領事會議ヲ予定ヨリ一週間位繰リ上げ開催セラルルコト便宜ト存ス
公使、漢口、上海へ電報セリ

二〇九 三月二十六日（発）在南京林出領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

旅大回収、二十一箇条廃棄ニ関スル南京学生
ノ排日行動ニ付報告ノ件

第二二号

往電第二一号ニ関シ

当地男女学生約二千名数隊ニ分レ三月二十六日午前十時頃
ヨリ市中ヲ巡行シ日本人商店前ヲ通過ノ際旅大回収二十一
箇条廃棄等声ヲ合シテ叫ビタルモノアリタルモ一般ニ不穩
ノ行動ナク午後二時頃ニ至リ雨天トナリ自然ニ解散シ終ニ
当館付近ニハ来ラズシテ終レリ
北京へ転電シ上海へ郵送セリ

二一〇 三月二十九日（発）在上海船津総領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

日貨排斥運動ノ継続予想並ビニ之ガ緩和策ヲ
講ズルノ要アル旨申進ノ件

第八五号

横竹商務官ヨリ

キ一種ノ緩和策ヲ講ズルノ要アル可シト思料セラル我總領
事ニ於テモ折角我方關係ノ漢字新聞ヲ利用シ其趣旨ニ基キ
廢督裁兵実業振興等ヲ鼓吹セシムルコトニ努力中ナリ
在支公使へ転電シ青島、奉天、南京、蘇州、杭州、天
津、広東及漢口へ暗号ノ儘郵送セリ

二一一 四月三日（発）在上海船津総領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

日貨排斥運動ノ情況ニ関シ報告ノ件

第八八号

横竹商務官ヨリ

本日は藤副商務官馮少山（往電第八五号参照）ニ面会シタ
ルニ目下外交市民大会施行委員会ノ名義ヲ以テ經濟絶交実
行ニ付各方面並団体ノ意見ヲ徵収シツツアルガ来ル十日ヲ
以テ一応締切り其ノ上各団体ノ代表者ヲ会シ且日本商品取
扱当業者方面ノ実情ヲモ調査シタル上「ボーイコット」実
行可否並方法ヲ協議スル筈ナリト云フ

去レハ目下ノ処「ボーイコット」運動ノ成行ハ不明ナルガ
唯一般商人ガ該運動ニ氣乗セサルハ事実ナルカ如シ尚總商

三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 二一一 二一二

旅大回収ニ対スル示威運動ハ去ル二十三日付拙電ノ通り行
ナハレタルガ其後各界商会連合会主動トナリ經濟的断交計
画委員会設ケラレ「ボーイコット」実行ニ関シ協議ヲ続ケ
居レリ石炭、砂糖、金物、工業藥品等商況並荷捌影響ナキ
モ一部海産物、綿布、化粧品等氣迷氣分濃厚尤モ未タ本邦
品ノ売買ヲ強制シ又ハ沒收スル等ノ行為ナキモ一般紳商ハ
該運動ノ前途ヲ氣遣ヒ此ノ際速ニ手持品ノ処分並契約品ノ
受渡シニ焦慮セルガ如ク現ニ長江一帶南清沿岸行キ荷動キ
遽ニ景氣ヲ帶ビ来レルヤノ觀アリ之ヲ先年ノ例ニ見ルモ其
実行前一二週間同様ノ現（象）アリタルニ鑑ミ今回ノ「ボ
ーイコット」氣勢モ尚發展ノ道程ニ在ルモノト思ハル目下
運動ノ中心ハ前記各界商会總連合会並廣東「ギルド」ニシ
テ澄衷^{チンセン}中学校長曹慕管^{サウモクワン}廣東「ギルド」ノ役員ニシテ總商会
ノ役員タル馮少山等主動者ナリ右二人ハ何レモ本邦商品ニ
關係ナキ為メ売名的ニ活動シツツアルモノト一部支那人間
ニ評アリ總商会ノ態度ハ消極的「ボーイコット」運動ハ目
下ノ処差シタル影響ナキモ当分ノ間継続セラルベク未ダ榮
觀ヲ許サズ当業者ノ警戒ヲ要ス可キハ勿論一般ニ於テモ此
ノ際何等カ支那ノ内政問題ニ其鋒先キヲ轉換セシムルガ如

会ハ明日頃上海日本商業會議所へ公文ヲ以テ旅大回収問題
ニ関スル適當弁法ノ共同協議方ヲ申込ム筈ナリト云フ
北京へ転電シ天津、広東、漢口、南京、蘇州、杭州、青
島、奉天へ暗号ノ儘郵送セリ

二一二 四月十日（発）在宜昌荒領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

武漢方面ノ学生ノ煽動ニヨリ宜昌一般市民ノ
排日感情ハ漸次高潮ノ兆アル旨報告ノ件

第三〇号

（排日運動ニ関スル件）
往電第二六号ニ関シ

武昌漢口方面ノ学生数名ハ数日前宜昌ニ来リテ排日運動ヲ
煽動セシカバ当地ノ中学生ハ新聞社側及一部市民ト相呼応
シテ過激ノ文字ヲ羅列シタル伝單ヲ市中ニ撒布シ日貨抵制
及日本船排斥ヲ鼓吹セリ

而シテ当地商務總會ハ今尚中立ノ態度ヲ維持シ居ルヲ以テ
日貨排斥ハ未ダ実行セラルルニ至ラザルモ一般市民ノ対日
感情ハ漸次高潮セラレツツアルガ如シ

北京へ電報セリ

二二三 四月二十日 (発) 在宜昌荒領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

外交後援会ノ開設ニヨリ宜昌ノ排日情勢頓ニ
悪化ノ風アル旨報告ノ件

第三四号

(学生団示威運動)
往電第三二二号ニ関シ

当地商民ハ四月十七日及十九日ノ兩日ニ亘リ市民大会ヲ開
キテ日本ノ対支政策ヲ悲憤慷慨シ之ガ対策トシテ対日經濟
断交ノ一途アルノミト絶叫セリ一方排日ノ実行機關トシテ
外交後援会ノ開設ヲ見市中ニハ隨所ニ不穩ノ貼紙ヲ散見ス
ル等一般ノ情勢頓ニ悪化ノ風アリ而シテ斯ル風潮ノ拡大ニ
連レ我商民殊ニ汽船会社ハ甚大ノ打撃ヲ受クルニ至ルベシ
ト予測セラル

在支公使ヘ電報セリ

二二四 四月二十五日 (発) 在漢口林總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

排日運動ノ活発化及ビ漢口商總會内ニ武漢國
民外交後援会設置ノ件

当地商總會内ニ設ケラレタル外交後援会ハ四月二十九日湖
北全省外交後援会規則十一ヶ条ヲ作り日貨排斥ニ関スル詳
細ノ規定ヲ定メ武穴、黄石港、宜昌、沙市、新堤、老河口
等ノ商会ニ打電シ本月七日ヨリ日本ニ対スル經濟ノ絶交ヲ
実施スル旨通告シタル由ナリ本会ノ幹事長呂超伯ハ前ノ商
會總理ナルカ紡績工場ニ關係シ居レルヲ以テ今回ノ排日運
動ニ相當声援ヲ与ヘ居ルモノナリト称セラル本件ニ関シ本
官ハ蕭督軍及陳交渉員ニ向ヒ日貨排斥運動ノ嚴重ナル取締
ヲ交渉シ居ルモ支那官憲ニ誠意ナク且大勢ニ押サレ氣味ナ
ルヲ以テ到底積極的ノ取締ヲ望ムコト困難ナルカ如シ而シ
テ是等排日運動ハ實際上我カ通商ニ未タ大ナル影響ヲ實現
シ居ラサルモ上流行ノ日清汽船ニハ支那人乗客激減シツツ
アリ上海行ノ乗客ニハ著シキ差異ナキモ貨物ニハ多少ノ影
響ヲ現ハシツツアルモノノ如シ

公使ヘ電報シ、上海、九江、沙市、長沙及宜昌ヘ暗送セリ

二二六 五月六日 (発) 在九江江戶領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

武寧縣ニ於ケル邦人ノ被害ニ付同県知事ヨリ

三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 二二六 二二七

第五六号

当地ニ於ケル排日運動ハ其後漸次氣勢ヲ増シ各漢字新聞ハ
殆ソ連日排日ニ関スル記事ヲ掲載シ居リ学生其他ノ排日
ニ関スル小会合ハ殆ソ連日毎ノ如ク至ル処ニ開催セラレ居
リ本月二十二日ニハ各会ノ代表者六十余名関帝廟ニ集リ武
漢國民外交後援会ノ組織ヲ議シ該會事務所ヲ漢口商總會内
ニ設置シ来月上旬省内各地ヨリノ代表者ヲ招致シ大会ヲ開
ク予定ナルガ如シ右ノ如キ状況ニシテ来月迄ハ尚日増シニ
排日ノ熱度ヲ昂ム可シト予想セラルルモ目下ノ処我在留民
ノ商取引ニハ日清汽船ノ船客減少セルト先物手控ヘノ外未
ダ著シキ影響ヲ見ルニ至ラズ但シ商人ノ大多數ハ皆今後ハ
相當ノ影響ヲ受クルニ至ル可キヲ覚悟シ居レリ

在支公使ヘ電報シ天津、上海ヘ暗送セリ

二二五 五月一日 (発) 在漢口林總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

漢口商總會ニ於ケル日貨排斥ニ関スル規定
ノ実施通告ニ関スル件

第六〇号

回電ノ件

第一六号

九江発上海宛電報第二号

往電第一号ニ関シ

五月五日武寧縣知事ヨリ被害日人等ハ護照ノ呈驗ヲ經スシ
テ広告ヲ貼リツツアリシトキ偶々公民学生連合ノ旅大問題
ニ対スル後援遊行ニ会シ紛擾ヲ惹起シタル次第ニテ遺憾ニ
堪エス依テ嚴重ニ之ヲ取締リ日人ニ保護ヲ加ヘ本日護送シ
テ無事出境セシメタル旨回電アリタリ就テハ兩人九江着ヲ
待テ何分ノ措置ヲ講スヘシ

外務大臣、公使ヘ電報セリ

二二七 五月九日 (発) 在上海船津總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

旅大回収運動ニ関シ臨城事件發生下ノ排日國
體ノ動靜報告ノ件

第一二〇号

旅大回収運動ニ関シ当地排日団体ハ五月九日ニ大々の運動
ヲ起ス計画ヲ以テ七日ハ何事モ行ハス大ニ宣伝ニ努メ居タ

三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 二一八 二一九

ルカ津浦線土匪襲撃事件発生ノ為メ勦カラス氣勢ヲ殺カレタルモノノ如ク九日午後二時総商会ニ開カレタル市民大会モ参加セルモノ約二千ニ過キス其大部分ハ学生労働者店員等ニシテ開会後一時間ニシテ解散シ初メタリ又同時刻ニ総商会ニ隣接セル天后宮ニ於テ徐謙夫婦等力催シタル排日劇モ観衆約五百ニシテ五時頃無事解散セリ会場ノ内外ハ租界警察ノ取締嚴重ニシテ行列等モ行ハス市中目抜ノ大商店ハ国旗ヲ掲ケ或ハ休業シタルモノ少カラサリシカ大体ニ於テ氣勢甚タ振ハサリキ

津浦線事件発生後外事新聞ハ勿論漢字新聞モ支那政府及軍閥ノ無能ヲ罵リ排日ヲ論スルモノナシ

北京、天津、広東、漢口へ転電シ南京、蘇州、杭州へ暗送セリ

二一八 五月九日（発）在漢口林総領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

漢口錢業公会及ビ綿糸業者ノ日本商人トノ取引キ拒絶決議ニ関スル件

第六一号

集合スルモノ一万余ニ上リ商会代表鄭慧吾及各学校教職員学生ノ代表者等数名例ニ依リ激烈ナル排日演説ヲ為シ午後二時ヨリ数隊ニ分レ支那街ヲ游行シ伝單ヲ配布シ演説等ヲ為シタルガ支那官憲ノ警戒嚴重ナル為メ唯今（夕刻）迄ハ平穩ニ経過セリ本日市中ノ支那商中ニハ二十一ヶ条ニ関係アル種々ノ文句ヲ記セル旗ヲ掲クルモノ多ク中ニハ休業セルモノモアリタリ尚居留本邦人中ニハ支那街ニ赴キテ遊行学生ノ為メ「ステッキ」ヲ以テ殴打セラレタルモノ一名アリシモ外ニハ被害事故ナシ

在支公使へ転電セリ

二二〇 五月十日（発）内田外務大臣ヨリ
在漢口、福州、張家口各領事宛（電報）

日貨排斥運動緩和方ニ関スル方針ニ付訓令ノ件

合第八三号
今次ノ排日ハ幸ヒ未ダ激烈ナラズ我對支貿易ニ及ホス影響亦比較的ニ少キ処微温的ナル丈ケ却テ間歇的ニ永續ノ虞無キニ非ズ就テハ（一）民衆ノ排日運動ニ對シテハ我ニ於テ重要

三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 二二〇

一八〇

往電第六〇号報告後所謂国辱記念日ノ近ツクニ從ヒ各方面ノ排日運動具体化シ来リ本月六日当地錢業公会ハ日本商人トノ取引拒絶ヲ議決シ綿糸業者モ亦同様ノ決議ヲ為シ皆五月九日ヨリ日本商人ト一切取引ヲ絶ツコトナリ先物等ノ約定ハ全部之ヲ外交後援会ニ届出ツルコトナレリ是等ノ規約ニシテ若シ完全ニ実現セラルルニ於テハ我カ商人ノ打撃頗ル大ナルヲ以テ本官ハ支那官憲ニ對シ条約違反ノ理由ヲ以テ湖北全省商会外交後援会簡章ノ取消ト排日運動ノ取締ヲ要求中ナルカ未タ積極的取締方法ヲ執ラサルヲ以テ引続キ嚴重ナル取締ノ実行ヲ要求シツツアリ

在支公使へ転電シ上海へ暗号ノ儘郵送セリ

二一九 五月九日（発）在漢口林総領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

国辱記念日ニ於ケル示威行進ニ付報告ノ件

第六二号

今五月九日ハ所謂国辱記念日ニ当タルヲ以テ各界共ニ日本商人トノ經濟絶交ニ入ル段取トナリ居リ且予テノ計画ニ依リ午前十一時ヨリ当地老圃花園ニ於テ武漢國民大会ヲ開キ

視セス特ニ窮迫ヲ感セサルノ態度ヲ示シテ提唱者ヲシテ自ラ其効果ヲ疑ハシムルノ方針ヲ執リ（一）地方責任官憲ニ對シテハ克ク大局ノ利害ト条理ヲ説キ進デ之ガ取締ヲ勵行セシメ（二）在留邦人ヲ戒メテ苟クモ不測ノ事端ヲ醸シ直接間接排日ノ口実ヲ与ヘ又ハ氣勢ヲ強メサル様注意セシメ（四）万一直接邦人又ハ其事業財産ニ暴行阻害ヲ与ヘタル場合ニハ直チニ真相ヲ明カニシ後日ノ証拠ヲ作ルト同時ニ官憲ニ對シ嚴重善後措置ヲ要求シ之カ迅速解決ヲ計リ此種運動ノ増進ヲ阻止スル事可然ニ付右方針ニヨリ今後其慎重且適切ニ措置セラレタシ尚排貨運動ニ對抗シ取引實際上有効ナルヘキ便法ニ就テモ充分研究セラレ隨時報告アリタシ右各項ハ既ニ貴官御取計ノ儀ナルベキモ為念電報ス委細郵報

（在漢口総領事へ）本電本大臣訓令トシテ在沙市、長沙、宜昌、重慶各領事へ転電シ成都へハ重慶ヨリ転電セシメラレ度シ
（在福州総領事へ）本電本大臣ノ訓令トシテ在汕頭領事へ転電アレ

（張家口へ）同上赤峰へ転電アリタシ

二二二 五月十日 (発)

在蘇州蘇州領事代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

蘇州ニ於ケル国恥記念日ノ遊行状況等報告ノ件

第九号

五月九日当地学生会主催ノ国恥記念大会ハ上海ヨリ応援アリ学生側ニ於テ数日前ヨリ市内各団体ニ参加ヲ運動シ居タルモ僅カニ消防隊ノ一部ガ之ニ参加シタルノミニシテ総数約三千名ガ各学校別ニ隊ヲ組ミ市内ヲ遊行セリ当日ハ内地ノ觀光団等多数本邦人ノ市内ヲ遊覧シ居タルニ拘ラズ何等事故ヲ見ズ無事経過セリ今日当地二三新聞ハ国恥記念号ヲ発行シ対日經濟絶交ヲ説キ又学生団ハ各種ノ排日宣伝ノ伝單ヲ撒布シ当日ヨリ日本品ノ調査ヲ開始ス可キ旨ヲ宣言セシメタリ一部商人ニハ遽ニ警戒ヲ加ヘタル向アルモ一般省民ハ其不可能ヲ見込尚冷靜ノ態度ヲ持セリ

二二三 五月十一日 (発)

在沙市長岡領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

沙市ニ於ケル大元丸ニ対スル中国人ノ暴行ニ

当地ニ於ケル排日運動ニ関シ五月十一日蕭督軍ヲ訪ヒ之ガ取締リヲ要求セルニ表面快ク承諾セルガ本件ニ関シ彼等幾何ノ誠意アリヤ疑問ニシテ彼ハ此ノ会見ノ際宜昌交渉員ニ対シテモ十分取締ヲ為ス様電命セル旨語リタルガ其後在沙市領事來電及在宜昌軍艦伏見及日清汽船出張所來電ニ依レバ上流各地ノ排日熱頗ル高ク我汽船ノ荷役困難ナル趣ナルヲ以テ五月十二日更ニ一面書信ヲ以テ他面口頭ヲ以テ陳交渉員ヲ通シ蕭督軍ヨリ宜昌沙市両地ノ支那官憲ニ嚴重ナル取締ヲ電訓スル様要求シ置キタリ蕭督軍ノ排日取締ニ関スル態度ハ全ク吳佩孚ノ意向如何ニアルモノノ如ク彼トシテハ直ニ自発的ニ積極取締方針ヲ執ルコト難シキ模様ナルモ一面日貨排斥運動ノ条約違反ナルヲ認メ居ルヲ以テ今後出來ルダケノ機會ヲ捉ヘテ誠意ヲ以テ取締ル様懇願スル積ナリ 在支公使、沙市、宜昌へ転電シ上海、九江、長沙、重慶へ暗送セリ

二二四 五月十五日

在漢口林總領事ヨリ
内田外務大臣宛

武漢地方ニ於ケル五九記念日前後ノ排日情况

三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 二二四

付報告ノ件

第一二号

当地排日運動ハ從來極メテ微温的ナリシガ十日午後六時日清汽船会社大元丸漢口ヨリ著港スルヤ約二百ノ群衆江岸ニ於テ支那人乗客ノ上陸セムトスルモノヲ要シテ罵詈ヲ浴セカケ夜ニ入ルヤ陸上ヨリ同船ヘ投石スルモノアリ危険ナル為荷役終了後「ハルク」ヲ離レテ投錨シ今朝宜昌ニ向ケ出發シタリ

当時支那側ニ於テハ相当取締ニ努メタルモ事急ニシテ充分ナル効果ヲ見ザリシガ右暴行ハ主トシテ招商局側ノ煽動ニ依ルモノト認メラル

小官ハ目下善後策取計中ナリ

在支公使、漢口、宜昌へ転電シタリ

二二三 五月十三日 (発)

在漢口林總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

蕭湖北督軍ニ対シ長江上流地域ノ排日取締リ
方申入レノ件

第六三号

報告ノ件

機密第三三号

(五月二十九日接受)

大正十二年五月十五日

在漢口

總領事 林 久治郎(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

武漢地方ニ於ケル五九記念日前後ノ排日運動

報告ノ件

本件ニ関シテハ屢次及報告置候処其後当地方面ノ運動ハ漸次高潮ニ達シ本月六日湖北省商界外交後援会ハ国恥記念大会ノ下準備会ヲ開キ日貨ノ登記及処分方法等ニ就キ決議ヲナシタルカ同日当地錢業公会ハ武昌漢陽ノ同業者ヲ招請シテ武漢錢業連合会ヲ開キ日本人ト金融上ノ取引ヲナササル旨ヲ決議シタリ七日ノ国恥記念日ハ九日ニ延期セラレタル為メ市中ノ商賈ニハ国恥記念ノ白旗ヲ掲ケタルモノアルモ其数極メテ少ク小集團ノ遊行ト伝單ヲ散布シタルニ過キス唯漢陽ニ於テハ湖北省商界外交後援会漢陽分会ノ発会式アリ式後市内ヲ遊行シ多数ノ伝單ヲ散布シタリ国恥記念日タル九日ニハ武漢外交後援会及武漢外交委員会發起ノ

下ニ当地支那街老圃側面ニ於テ国恥紀念大会開カレ武漢三地ノ各団体代表ヲ網羅シ参会者約壹万人ニ上リ散会后會衆ハ数隊ニ分レテ当地支那街及武昌市街ヲ遊行シ多数ノ伝單ヲ配布シタルガ中ニハ軍閥打破、政府改造等ノ過激ナル伝單ヲ散布シタルモノモアリタリ市内ノ商賈ハ一般ニ五色旗ヲ掲ケテ国恥紀念ノ意ヲ表シタリ当地地方ノ漢字新聞ハ引続キ排日記事ヲ連載シ殊ニ正義報ハ最モ過激ナルヲ以テ本官ハ督軍、交渉員、警察厅长ニ対シ排日取締ニ関スル交渉ノ際同新聞ノ取締ヲモ要求シ置キタルガ昨今ハ稍緩和セラレタリ尚ホ本官ハ五九紀念日前ニ万一ヲ慮リ督軍及交渉員ニ対シテ取締ニ関シ相当ノ注意ヲ申進メ置キタルニ紀念日当日本邦人一名支那街交行中遊行隊ト衝突シ殴打(負傷ナシ)セラレタル外何等ノ事故發生セザリキ尚ホ湖北全省商界外交後援会等各種団体ノ名義ヲ以テ經濟絶交等ニ関スル種々ノ決議ヲナシ目下実行ニ取掛リ居レトモ支那商人ハ日貨排斥ノ前途ヲ見越シ五月九日以前ニ夥シキ先物契約ヲナスモノ続出致候茲ニ別紙報告書添付此段報告申進候也

写送付先 在支公使 在上海總領事

(別紙)

テ商務交通ニ便ニス

尚ホ同日当地錢業公会ハ正午同会内ニ武漢三地ノ同業者ヲ招キテ連合会ヲ開キ万沢生ヲ会長ニ推シ左ノ四項ヲ決議シタリ

- 一、日本ノ貨幣ヲ受取ラス
- 二、日商トノ往来及為替取組ヲナサス
- 三、日商ト金員ノ授受ヲナサス
- 四、日貨ヲ買売スル商店ト一切取引ヲナサス

五月七日

漢陽商總會ハ本日正式ニ湖北全省商界外交後援会漢陽分会ノ発会式ヲ舉行シ周金山ヲ同会分会長ニ推挙シ発会式ノ祝辞及排日ニ関スル演說數番ノ後学生ノ参加ヲ求メテ湖北全省商界外交後援会漢陽分会ト大書セル大幟旗ヲ先登ニシ遊行隊員ハ(不用日幣)(不買日貨)(万衆一心)(堅持到底)等ヲ記セル白旗ヲ携ヘ市街各所ヲ遊行シ沿道ニ多数ノ伝單ヲ配布シタリ武昌及当地ニ於テモ「国恥紀念」「永久不忘」「国民外交」等記載セル白旗ヲ掲揚セルモノアリ武漢ノ各学校ハ半休トシ市街各所ニ於テ外交講演会ヲ開キ小集団ノモノ市街遊行ヲナシ伝單ヲ散布

武漢地方ニ於ケル排日風潮

五月六日湖北全省商会外交後援会ハ国恥紀念日ノ下準備会トシテ武漢三地ノ各商總會員及各幫ノ代表ヲ当地商總會ニ招請シテ公開宣伝大会ヲ開キ幹事万沢生開会ヲ宣シ鄭慧吾等数名ノ演說ノ後宣伝会終了ヲ告ケ夫ヨリ湖北全省商会外交後援会ハ各科ノ常務幹事ノ茶話会ヲ開キ善後弁法ヲ講究スルコトナリ万沢生主席ノ下ニ左記諸項ヲ決議シ国恥紀念大会通過後ヲ俟ッテ実行スルコトシ午後七時散会セリ茶話会決議事項

- 一、日貨ノ登記ハ手續繁煩ナルヲ以テ各幫ノ公会員責任ヲ以テ之ニ当リ総報所ヘ転致スルコト
- 一、各幫公会ハ日貨公売処ヲ設ケ會員之カ公売ニ当ルコト
- 一、日貨ヲ他処ヘ輸送シテ販売スルモノハ外交後援会ヨリ捺印シテ護照ヲ發給シ不正手段ヲ防遏シ又ハ沿道ニ於テ抑留セサルコトトス
- 一、本会ハ登記及検査済ノ日貨ハ極力保護ス
- 一、若シ一幫カ本決議ヲ無視シタル場合ハ一齊ニ攻撃シ務メテ各幫相互ノ連絡ヲ計ルコト
- 一、本会ノ發給スル検査済護照ハ隣接各省及商会ニ通知シ

シタリ尚ホ湖北全省商界外交後援会ハ同日午後六時各科ノ委員会ヲ開キ幹事蔡鄉輔主席トナリ次ノ如キ決議ヲナシタリ省内ノ開港場以外ノ各地ニ於ケル日本人ノ通商ヲ禁止スルコトトシ調査團ヲ組織シ各地ニ赴キ実地調査ヲナシ地方民ニ日本ト往来ヲ断絶スルコト及各地ノ荷物運搬夫ニ日本人ノ荷物ノ揚卸ヲ為ササルコトヲ勸告ス七日附錢業公会ノ決議ヲ国恥紀念日ヨリ実行スルコト

日貨ノ登記期限ハ九日限リトス

九日ノ国恥紀念日ニハ芝居ヲ禁止シ商店ハ国恥ニ関スル幟旗ヲ掲揚スルコト

五月九日国恥紀念大会

武漢外交後援会及武漢外交委員会發起ニ係ル第八週年国恥紀念大会ハ午前十一時半当地支那街老圃ノ空地ニ於テ開催セラル武漢三地ノ商会学生教職會員等ヲ始メ殆ント各階級及団体ヲ網羅シ参集スルモノ約一万人午前十一時半商会代表鄭慧吾ヲ臨時会長ニ教職員連合会代表劉覺民、武漢学生会代表何恕ヲ副会長ニ推挙シ鄭慧吾ハ劈頭第一開会ノ宗旨ヲ報告シ次テ漢口民新學校長任松如ハ左ノ宣誓文ヲ朗誦セリ

「大中華民國国民ハ真摯ナル心思、確固タル意思ヲ以テ対日本經濟絶交ヲ実行シ日本ガ二十一ヶ条ヲ撤回シ旅順大連ノ還附スルニ至ッテ止ムコトヲ誓フ天日上ニ在リ此ノ心ヲ実鑒ス謹シテ誓フ」

次テ激烈ナル排日演説數番ノ後十二時半散会シ会衆ハ五隊ニ分レテ支那街ヲ游行セリ武昌ニ於テモ三隊ニ分レテ游行シ殊ニ明星新劇社及美成新劇社ノ俳優ハ朝鮮ノ亡國ノ慘狀及二十一ヶ条ノ支那国民ヲ圧制スル狀態ニ扮シテ游行ニ参加シタリ、此間伝單數万枚ヲ散布シタルカ中ニハ曹錕、吳佩孚ヲ國賊ト罵リ軍閥打破、政府改造等ノ過激ナル伝單モ見受ケラレタリ

同日武漢三地ノ商賈中ニハ門前ニ五色國旗ヲ掲ケ國旗ノ中間ニ國恥紀念ノ四字ヲ貼り或ハ白旗ニ「欲雪國恥」「万衆一心」等ノ文字ヲ描キタル白旗ヲ掲揚シ國恥紀念ノ意ヲ表シ殊ニ当地目抜ノ商業地区ノ商人中ニハ游行隊通過ノ際ニ爆竹ヲ放チテ大イニ歡迎スルモノ等アリタリ

漢口地方日貨抵制運動ノ邦貨ニ及ホシタル影響

△日貨抵制運動勃發以來売行頓ニ減退シタルハ

ノ勃發スルアリテ商況愈々不味ヲ告ケ取扱業者ハ何レモ人氣ヲ腐ラシ居レリ

藥品 本邦製藥品ハ仁丹ヲ筆頭ニ支那側ニ於テハ人氣ヲ博シ可成リノ地盤ヲ作り上ケタルガ最近營業上ノ武器タル市内貼紙、点燈廣告、幻灯廣告等何レモ之ヲ中止スルノ已ムナキニ至リ為メニ市場商品ノ消化ヲ停滯セシメタルコト夥シキモノアリ且ツ市内各代理店側ハ何レモ仕入ヲ手控ヘ地方代理店ニ於テハ游行學生ノ暴行ニ遇ヒ遂ニ陸揚不能トナリ積戻シ来レル等悲觀材料多ク目下人氣見直シノ情態ニアリ

砂糖 本邦製砂糖ハ英國製品若クハ支那製品ニ比シ割安ナルヲ以テ從來支那側料理店、旅館、菓子商等ヨリ相当人氣ヲ集メタルガ最近其ノ需要頓ニ減退シタルガ如シ

其ノ他麦藁帽子、洋傘、タオル、靴下、腿帶子、板硝子、エナメル製品、縫針、一般化粧品等何レモ売行減退ヲ示セリ

次キニ海運業ニ対スル影響如何ヲ大觀スルニ曩ニ「ボイコット」団ハ本邦船抵制ヲモ声明シ着々其ノ具体化ヲ見ルニ及ヒタルガ上海行荷物ノ一部不積並ニ漢口宜昌航路ニ於テ

海産物ニシテ綿糸布、藥品、砂糖、諸雜貨等之ニ次ク

△海運業者ニモ多大ノ打撃ヲ与ヘタリ

曩日ノ旅大回収問題ニ関連シテ勃發シタル当地方日貨抵制運動ハ目下漸ク平靜ニ帰シタルガ如キ觀アルモ未タ樂觀ヲ許サス其ノ本邦製品取引上ニ及ホシタル影響ハ蓋シ渺カラサルモノアリ

海産物 從來当地方ニ輸入セラルル海産物中ニハ米國品モ多少割リ込ミタルガ如キモ其ノ輸入額ハ日本品ヲ以テ最トナシ各支那旅館料理店等ヨリ多大ノ歡迎ヲ受ケタルモノナルガ該運動勃發以來各支那料理店等宴会開催ノ為メ殊ニ賑ヒタルニモ係ラス本邦海産物ノ売行渺々シカラズ其ノ理由ハ一般ニ鮑、貝柱、寒天等本邦特産物ノ使用ヲ恐レ海參、魚翅、蝦、魚肚等又可成の本邦品ヲ顧ミス支那品ニテ間ニ合セタルヲ以テナリ次キニ塩魚、昆布、刻昆布等ノ如キハ売行全ク杜絶シ日支海産物商ハ畜シク悲觀シ居レリ

綿糸布 綿糸布ハ当地輸出貿易品中ノ大宗ナルガ一般財界不況ノ折柄其ノ商取引極メテ鈍調ニアリテ一陽來福ノ機尚ハ前途遼遠ナルヲ氣遣ハレ居レルニ様テテ加ヘテ該運動

ハ暴行學生、無賴漢等ハ絶ヘス日清汽船ノ上下船客ヲ威嚇シ切符ノ発売、貨物積載等ニ対シアラユル妨害ヲ加ヘタルヲ以テ船客及積荷等ニ減退ヲ来シ甚大ナル打撃ヲ与ヘタルモノナルガ然モ之ガ善後策ニ対スル支那官憲ノ態度ヲ見ルニ常ニ言ヲ左右ニ托シ毫モ之ヲ鎮圧スルノ手段ヲ講セス反ツテ煽動セントスルノ氣配ヲ示シ居ルヲ以テ海運業ニ就テモ未タ樂觀ヲ許ササルモノアリ

二二五 五月十九日（發）

在宜昌荒領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

宜昌ノ排日行動ハ中国官憲ノ取締リニヨリ漸

次緩和ニ向イツアル旨報告ノ件

第四三号

往電第三八号ニ関シ

五月十二日以来支那官憲側ノ取締振ハ積極的トナリタル為日本船ニ対スル排日の行動ハ其後終熄ノ姿トナリ之ト共ニ市内ニ於ケル排日団ノ妄動モ向後漸次緩和セララルニ至ラズヤト思惟セラ

從來当地ニ於ケル排日風潮ノ發生當時ヨリ治安維持ニ直接

ノ責任ヲ有スル警察庁長、鎮守使及交渉員等主要軍憲ノ不在ナリシニ依ル尚予テ当方ヨリ直接ニ督軍ニ交渉シ置キタル結果警察庁長ハ五月上旬ニ帰任シ交渉員モ又一両日中ニ帰任スルコトナレリ 北京、漢口へ転電シ沙市、重慶、上海へ暗送セリ

二二六 六月一日（発）在九江江戶領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

排日風潮激烈トナリタル場合ノ邦人保護策ニ

関シ申進ノ件

第二三号

（排日運動阻止策）
大臣発無湖領事宛電報第一〇号ニ関シ当地方排日ハ今日迄ノ所日清汽船積荷激減ノ外大ナル影響ナキヲ以テ本官トシテハ一方在留民ニ対シ平靜ナル態度ヲ持セシムルト共ニ他方支那側ニ対シ此際其取締等要求スルコトヲ差控ヘ居ル次第ナル処若シ将来其風潮激烈トナリ御電照ノ如キ一、日用食料品等ノ供給ヲ阻害スルカ如キコトアラハ本官指導ノ下ニ日本人会内ニ特別委員ヲ設ケ支那警察ヲシテ右委員ノ日用品購入ヲ保護セシムルト同時ニ日清汽船ニ依リ他地方ヨ

リ物資供給ヲ受ケ得ル手段ヲ執ルヘク又二、邦人又ハ其店舖ニ対シ危害ヲ加フルカ如キ場合ニハ邦人義勇隊ノ活動ニ依リ応急ノ自衛手段ヲ講スルト同時ニ形勢ノ如何ニヨリ軍艦ノ急派ヲ請フ外ナカルヘシト存ス

漢口、沙市、長沙、蕪湖へ暗送セリ

二二七 六月五日（発）在漢口林総領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

排日取締方申入レニ対スル蕭湖北督軍ノ回答

振等ニ関シ申進ノ件

第七六号

当地方ニ於ケル排日運動ハ其後毫モ鎮静ノ模様ナク当地ヨリ附近ノ田舎ニ物資買出等ニ赴ケルモノノ中ニハ種々ノ妨害ヲ加ヘラレ投石セラレタルモノモアリ尚悪化ノ傾向ナキニアラサルヲ以テ絶ヘズ交渉員、警察署長、鎮守使等ニ対シ取締ヲ要請シ居ルモ彼等ハ秩序妨害の行動ハ之ヲ嚴重ニ取締ルベキモ夫レ以上ハ却テ反抗ヲ招ク虞アルニ依リ勸導ニ依ルノ他ナシトシ此上ハ督軍ノ命アラバ兎ニ角然ラズムバ何事ヲモ為スヲ得ズト称シ居レリ依テ本官ハ六月三日蔵

本書記生ヲ帶同蕭督軍ヲ訪問シ当地方ニ於ケル排日運動ハ取締不十分ナル為益々悪化ノ傾向アルコト、湖北ニ於ケル排日ハ全国中最熾ナル状態ニ在ルガ是官憲ノ取締ガ最緩慢ナル為ナルコト、此儘ニシテ推移セバ益々悪化シ更ニ大ナル長沙事件ヲ誘起スルニ至ル虞アルコト及現在ノ如キ支那官憲ノ取締態度ノ持来ラス結果ハ日本ノ不利益ナルノミナラズ之ニ依リ最大ナル損害ヲ被ルモノハ支那自身ナルコト等ヲ懇篤ニ説キ聞カシタルニ蕭ハ秩序維持ニ就テハ全力ヲ尽スベキモ現在直ニ積極的ニ排貨運動ヲ圧迫スル時ハ却テ反抗ヲ招キ秩序ヲ紊ルノ虞アルヲ以テ漸次勸誘ニ依リ之ヲ低減セシムベク此方針ハ単ニ湖北ノミニ止マラス全国皆一様ナリ然シ長沙事件モアリ旁々明日ニモ各界ノ有志ヲ招キ大イニ勸誘シテ排貨運動ヲ止メシムルニ努ムベシト回答セリ

蕭督軍ノ排貨運動取締ニ関スル曖昧ナル態度ハ昨年来ノ湖北省長問題トモ関係シ居リ黎元洪系ノ蕭督軍ノ省長兼任ニ反対ノモノ等多ク今次ノ排日運動ニ加ハリ居リ蕭ハ之ヲ懷柔スル為ニ積極的ノ取締ヲ為サザルナリト称スルモノアリ事ノ真偽ハ兎ニ角現湖北当局ヲシテ積極的排日取締ヲ為サ

シムルニハ北京又ハ呉佩孚ヨリノ徹底の訓令ニ依ルカ然ラザレハ我側ヨリ何等カノ圧迫ヲ加フルニアラズムバ困難ナルヤニ思料セラル

北京へ転電シ長春、哈爾濱、天津、宜昌、沙市へ暗号ノ儘郵送セリ

二二八 六月五日（発）在漢口林総領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

蕭督軍ノ排日取締ニ関スル各界代表者ヘノ訓

諭ニ付報告ノ件

第八〇号

徐交渉員ノ内談ニ依レハ蕭督軍ハ往電第七六号本官ニ語レル如ク六月四日午後武漢ノ重モナル文武官及商界外交後援会幹事長呂超伯其ノ他各界代表者ヲ招致シ排日運動ヲ此ノ儘ニ放任スルハ長沙事件モアリ旁極メテ危険ナルヲ以テ今後ハ示威行列ヲ許可セス日本人ノ生命財産等ニハ出来ル丈ケノ保護ヲ加フヘク從テ商人側ニ於テモ日本人ニ物資ヲ供給セサルカ如キ態度ヲ執ルナカランコトヲ望ムトノ意味ノ訓諭ヲ与ヘタル由ナリ此ノ會議後呂超伯等ハ同夜八時外交

後援会臨時緊急会ヲ招集シ督軍ノ訓諭ヲ報告シ是レ干涉ノ
第一歩ナルカ更ニ第二ノ干涉ノ来ランコトヲ虞ルトテ督軍
攻撃ノ演説ヲ為シタルカ出席者中ニハ穩和派モ少ナカラス
其ノ結果

- 一、対日經濟絶（交）ヲ尚継続スルコト
 - 二、長沙事件ニ対シテハ文字上ノ援助ヲ為ス
 - 三、和平堅持ノ態度ヲ執リ
 - 四、激烈及治安妨害の行動ノ發生ヲ防ギ
 - 五、目下準備中ノ行列ハ暫時停止ヲ勸告スルコト
- 等ヲ議決セル由ナリ右ノ事実ニ依リテ見レハ蕭督軍ノ方針
ハ一昨日以来漸ク多少ノ取締ヲ加フルニ傾キ始メタルモノ
ノ如シ

在支公使ニ電報上海、九江、沙市及宜昌へ暗送セリ

二二九 六月六日（発）在漢口林総領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

排日取締リニ関スル日本商業會議所ノ陳情書

二付報告ノ件

第八九号

六月一日初航海ノ途ニ就ケル湘江丸ハ三日午後常德ニ到着
セルガ既ニ長沙事件ノ報知有リタル為ニヤ多数ノ無頼漢及
学生等同船ノ周囲ヲ警戒シ陸上ト一切ノ交通ヲ杜絶セシメ
上陸セル使用支那人ヲ監禁シ在住邦人ノ近ヅクヲモ許サザ
ルヲ以テ同船ハ已ムヲ得ズ荷役ヲモ為サズ五日未明同地出
帆当地ニ帰還セリ然ルニ其後常德在住邦人ヨリ当地日清汽
船支店へ今一度湘江丸ヲ廻行セシメラレ度キ事及支那側ニ
テハ同船ノ支那人船員中先日学生ニ負傷セシメタル者アル
ニ依リ引渡シヲ要求シ居リ之ニ応ゼザレバ不時ノ災害起ル
模様アル旨来電アリ右加害者ナル者ハ不明ナルヲ以テ引渡
シニ応スベキ筋合ニ非ザルモ常德在住邦人（約十余名）ノ
引揚ゲニ便ズル為湘江丸ハ定期通り六月八日未明当地発常
徳ニ向カハシメ当館ヨリ志波警部補ヲ派遣シ尚常德県知事
ニ向ツテハ直接電報ヲ以テ邦人ノ生命財産保護方ヲ依頼シ
置ケリ

在支公使へ転電セリ

当地日本商業會議所ハ六月六日左記二個ノ決議ヲ具シテ本
官宛陳情書ヲ提出セリ右陳情書ハ郵送スヘキモ不取敢
第一決議

当地方ノ排日貨運動ハ益惡化シ事態漸ク重大トナレリ之
ヲ放任セハ終ニ国交ヲ害シ将来ニ禍根ヲ貽スモノト認ム
依テ我当局ハ支那官憲ニ対シ嚴重切実ニ交渉シ速ニ之ヲ
防遏確保セシメンコトヲ望ム

第二決議

長江一帯排日風潮ノ惡化ハ終ニ今次ノ長沙事件ヲ勃發セ
シメ各地在留邦人ノ生命財産ニ異常ノ脅威ヲ与フルニ至
レリ依テ此ノ際我軍艦ヲ増遣シ万一ニ備ヘラレンコトヲ
要望ス

在支公使へ転電セリ

二三〇 六月七日（発）在漢口林総領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

邦人引揚ニ便スルタメ常德向ケ湘江丸ノ再度

出航事情ニ付申進ノ件

第九五号

二三一 六月八日（発）在上海船津総領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

排日運動ノ形勢惡化ニ対シ断乎措置方ヲ切望
スル日本商業會議所ノ決議ニ関スル件

第一五一号

当地日本商業會議所ハ左記決議ヲ閣下並在支公使宛電報方
申出デタリ

最近長沙事件勃發以来排日運動ノ形勢益々惡化シ此儘推移
セバ各地蔓延ノ虞アリ在支邦人ノ生命財産ノ安危ニ係ル事
ナリ此際帝國政府ハ六月二日付請願ノ趣旨ニ基キ断乎タル
措置ヲ講ゼラレムコトヲ切望ス

在支公使へ電報セリ

二三二 六月八日（発）在沙市長岡領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

学生ノ排日運動漸次激化ノ徴アルニヨリ中国
側官憲ニ対シ取締方針説明方申入レノ件

第一七号

従来当地ノ排日ハ外交後援会主導トナリ学生等ハ単ニ行列

三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 二三三 二三四

及伝單配布ヲナスニ過ギザリシガ一兩日来学生ニシテ日貨検査及見張等具体的運動ニ与ルモノアルニ至リテヨリ（之カ為江陵県知事ト学生等トノ殴リ合ヒ事件ヲ生ジタリ）漸次悪化ノ徴アリ在留民ニ対スル直接ノ加害ハ無キ見込ナルモ其營業全ク不可能ト日用品購入ハ幾分宛困難ノ度ヲ加ヘ居レリ一方支那側ニ於テモ一般人民ハ排日ニ対シ漸ク倦怠ノ色アリ殊ニ商人ノ苦痛甚ダシキモノアルニ至リ且日貨使用禁止ヲ名トシ追刻的行為盛ニ行ハルル模様ナルヲ以テ貴電第六号御回訓ニ依リ最好ノ時機ト認メ經濟絶交ノ条約違反ニシテ損害賠償ノ責任ヲ負フヘキモノナルコト及排日ノ支那側ニ与フル害毒ヲ挙ケ今後ノ取締方針ニ関シ説明ヲ求ムル旨六月七日支那側各官憲ヘ書面ヲ以テ申入レタリ在支公使ヘ転電シ漢口、宜昌ヘ暗送セリ

二三三 六月九日（発）在重慶貴布根領事代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

重慶管内ノ排日ハ在留本邦人ノ隠忍自制ノ為
悪化スルニ至ラザル旨報告ノ件

第二三三号

行動ハ（脱？）之ヲ取締ル方針ヲ執リ居レル為学生会モ物品ノ検査ハ其実行ヲ躊躇シツツアリ市中本邦品ノ売行ニハ未タ格別ノ影響ナキモ日本品ノ新規注文ハ全ク之ヲ差控ヘ成行觀望ノ商情ナリ
公使ヘ電報セリ

二三五 六月十一日（発）在宜昌荒領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

宜昌ノ排日運動情況ニ関シ報告ノ件

第五〇号

当地ニ於テ其後ノ排日運動狀況ニ関シ左ニ概略電報ス
（一）五月中旬頃ヨリ排日運動ノ煽動ヲ目的トスル旗行列、貼紙ノ貼付等ハ其跡ヲ断チ又在留邦人及ヒ其店舗ニ対スル直接的ノ暴行日用品ノ供給阻害等ノ事実モ無ク一般外面ノ情勢ハ平靜ナリ邦商殊ニ小資本ノモノハ痛苦ヲ嘗メツツアリ而シテ之ニ對抗シ得ヘキ有効ナル取引ノ弁法ハ容易ニ発見スルニ至ラス尚当港ニハ他地方ノ如ク繫船棧橋ノ設ケ無キヲ以テ汽船ノ往復ハ舢舨舟ニ依ラサルヘカラサル処該舢舨舟ノ船頭ハ排日団ノ巧妙ナル脅迫ニ依リテ邦人三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 二三五 二二六

（排日状況問合）
貴電第一四号ニ関シ

一九二

電文不明ノ箇所アリ問合セ中ナルモ当地ノ排日ハ今日迄ハ五月八日付機密第二〇号拙信報告ト大差ナク未ダ特報スベキ新規ナル非常ノ出来事ナシ但シ万県在留邦商中日華製油会社ハ經濟絶交ノ苦痛ニ堪ヘズ最近一時引揚ノ筈ナルモ概シテ当館管内ノ排日ハ未ダ暴行ヲ見ル程悪化セズ是レ在留本邦人ガ隠忍自制ノ結果ナリ
北京ヘ転電セリ

二三四 六月十一日（発）在蘇州藤村領事代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

蘇州商務会ニ於テ日本品検査参加方ニ関スル
学生会ノ申込ミ拒否ニ関スル件

第一八号

当地学生会ハ六月九日ヨリ各商店及停車場ニ於テ日本品ノ検査ヲ開始スル筈ヲ以テ当地商務会ニ其参加方ヲ申込ミタルニ対シ商務会ハ四月六日ノ決議ニ依リ自ラ日本品ヲ取扱ハサルコトニナリ居レリトノ口実ヲ以テ右学生ノ申込ミヲ拒絶シ又当地官憲ニ於テモ学生等ノ貨物検査等不穩当ナル

ノ渡船ヲ拒絶シツツアリシカ此事態改善方ニ関シ支那官憲側ハ昨今漸ク積極的ノ措置ヲ執ルニ至レルヲ以テ遠カラス原状恢復ヲ見ルナラント思惟セラル

（一）排日運動阻止方ニ関シテハ地方的ニ当該官憲ニ対シテ小官等ヨリ条理ノ応酬ヲ為スノミニテハ其効果微弱タルヲ免レサルヲ以テ結局我政府ノ断乎タル意思表示ニ依リテ支那中央政府ノ覚醒ヲ促スノ外施策ノ途無カルヘキカト思考セラル

北京、漢口ヘ転電シ上海、沙市、重慶ヘ暗送セリ

二二六 六月十一日（発）在重慶貴布根領事代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

万県上流ニテ坐礁セル宜陽丸救助作業ニ対スル
中国学生ノ妨害行動ニ付報告ノ件

第二四号

（宜陽丸坐礁）
往電第二二二号ニ関シ

小池警部ノ報告ニ依レハ六月五日万県上流ニテ坐礁セシ宜陽丸ノ海難救助作業ニ対シ必要ナル舢舨ノ出入ニ当リ万県支那学生ハ其ノ船頭ヲ殴打拉致シ小舟ニ無經驗ナル者ヲ乗セ

三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 二三七

タル儘舩ヲ江上ニ漂ハセ或ハ電信打電ノ使者及食糧ノ為上陸シタル船員ヲ途中ニテ拘禁シ全ク陸トノ交通ヲ杜絶シ作業材料ノ供給ヲモ厳禁シ同船ヲ屢々危地ニ陥入レタリ若シ軍艦鳥羽ノ現場急航其ノ保護ナク学生ヲ威圧シ得ザリシナラバ減水ノ為同船著シク傾斜スルカ如キ場合ニ遭遇セリトセバ人命(同船前航ニハ米国人モ乗リ居リシ)ト満載ノ諸外国人ノ貨物ヲ犠牲ニシテ転覆ノ外ナク或ハ学生ト連合シタル土匪ノ襲撃ヲ受ケ彼等ノ恣ナル掠奪暴行ニ任スノミナリシト

遭難船ノ救助ハ野蛮人ト雖モ之ヲ知ル人道上ノ問題ナルニ支那学生ハ斯ノ如キ残忍性ヲ發揮シ万国共通ノ公法ヲ蹂躪スコノ罪ハ天下ニ訴ヘサル可ラス同船ハ天祐ニ依リ予期セザリシ増(水)ヲ得テ七日夜無事浮上リ十日重慶ニ入港ス北京、上海、漢口ニ転電セリ

二三七 六月十二日(発) 在上海船津総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

排日運動長期化ノ虞アルニ付徹底的対策ヲ講ズルノ要アル旨申進ノ件

南京、蘇州、杭州、広東、福州、青島へ暗送セリ

二三八 六月十三日(発) 在漢口林総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

排日取締り申入レニ対スル湖北省当局ノ反応
振り並ビニ在留邦人ノ強硬対策要望ニ関シ申進ノ件

第一一〇号
(在支公使へ訓令ノ件)
貴電第四三三号ニ関シ

六月九日不取敢陳交渉員ニ対シ閣下発在支公使宛第三七七号ノ趣旨ニ依リ嚴重ナル日貨排斥取締ヲ求メ更ニ六月十二日蕭督軍ヲ訪ヒ(陳交渉員及漢口鎮守使列席)本国政府訓電ノ趣旨ヲ伝ヘ取締ノ具体策トシテ日貨排斥取締ノ布告ヲ發布スルコト及湖北全省商會外交後援会ノ解散ヲ要求シタルニ蕭ハ例ニ依リ急激ナルハ却テ反感ヲ増スノミナルヲ以テ布告ヲ發布セズ事実上漸進主義ヲ以テ之ヲ取締ルベク又外交後援会ハ湖南省ト異リ乱暴ナル行動ヲ執ラズ且当地ノ主ナル実業家ニ依リ組織セラルルヲ以テ之ヲ解散スルコト困難ナル旨ヲ述ベタルニ依リ本官ハ該会ノ規則ハ日貨ノ排

三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 二三八

第一五七号

一九四

当地ニ於ケル排日風潮ハ表面案外平穩ニシテ特ニ惡化ノ傾向ヲ認メサルモ寧ロ他地方ニ於ケル通商妨害運動ノ影響ヲ受ケ商品及商店ニ依リテハ打撃尠ナカラス就中日清汽船最甚タシク商船会社相當ノ打撃アリ郵船ニ於テモ最近ニ至リ輸出入共約三割方減少ヲ見ルニ至リタル由、外交後援会ハ毎週定期會合ヲ催フシ国民党ノ徐謙其他町内連合會ノ如キ団体モ屢々會議ヲ開キ「ボイコット」実行方法ニ関シ種々ノ決議ヲ為シツツアルモ実行ハ案外之ニ伴ハス学生團ノ荷物帳簿検査モ未タ行ハレサルガ如シ本官ハ交渉員警察厅长ニ交渉シ教育当局者ヲ通シ学生ニ対スル警告取締並總商會ヲシテ運動ノ中心タラシメサル様取締方ヲ要求シ且外交後援會ノ解散方ヲ要求シタルモ支那官憲カ何レノ程度迄実行セシムル力アリヤ疑問ナリ要スルニ這回ノ排日運動ハ表面比較的平靜ナルモ支那人心ヲ轉換スルカ如キ大事件發生セサル限り(臨城事件ハ此点ニ於テ相当効果アリタリ)相当永ヒク虞アルヲ以テ我方ニ於テ何等カ「ドラスチック」ノ対策ヲ講スル必要ナキ乎ト思考セラル

在支公使、天津、漢口へ転電セリ

斥ヲ主張勸導シ之ガ違反者ニ何等カノ制裁ヲ課セムトスルモノニシテ条約違反ナルニ依リ是非取締ラザルベカラザル旨ヲ熱心ニ説キタルニ鎮守使及交渉員ノ口添ニテ漸ク鎮守使ヨリ表面該會規則ノ有無ヲ(脱)取締ルコトトシ事実上該規則ヲ有耶無耶ニ葬ル様取計フベシト言フ不徹底ナル取締ヲ承諾シタルガ尚此他当地支那街ニ於ケル食料品商及薪炭商中ニ近來本邦人ニ食料燃料等ノ売却ヲ拒絶セルモノアルニ対シ嚴重ニ処分シテ向後斯ノ如キ不都合ナル商人ノ絶滅ヲ期スベキコトヲ約シ又兩三日前日清汽船鳳陽丸ガ武穴ニ寄港ノ際学生等舩ノ近ゾクヲ妨ゲ船客ノ乗降ヲ妨害セシ件ニ就テハ早速同地官憲ニ電訓シテ之ヲ取締リ尚宜昌及沙市ニモ同様ノ訓令ヲ發シ一般県知事ニ対シテモ排日取締ニ関スル訓令ヲ發スベキコトヲ約セリ

御電訓ニ依ル本官ノ交渉ニ対スル湖北官憲ノ態度ハ大要右ノ如クニシテ從前ノ傍觀主義ヲ棄テテ多少取締ヲ為スニ傾キタリトハ言ヘ現在当地ニ於ケル本邦人貿易ノ大部分ハ殆ド停止ノ狀態ニ在リ而テ支那側ノ緩慢ナル態度ヲ以テシテハ排日運動緩和セラレ取引復旧スルノ日果シテ何レノ時ニアリヤ毫モ期待スルヲ得ズ此間ニ小資本ノ在留商人中ニハ

一九五

自重持久スルノ力ナク或ハ救済ヲ叫バムトシ或ハ政府当局ノ方針ニ対スル懷疑トナリ殊ニ長沙事件以来ハ在留民一般ニ政府ガ断乎トシテ条約ヲ無視スルモノヲ膺懲スル策ニ出デムコトヲ希望スルニ傾キ本官等ノ切実ナル勸説ニモ拘ラズ隱忍自重モ程度問題ナリトシ(脱) 会ヲ開キ居留民ノ決意ヲ披瀝セムト欲スルモノ等頗ル多シ

北京へ転電シ九江沙市南京及宜昌へ暗号ノ儘郵送セリ

二三九

六月十四日(発)

在九江江戶領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

長沙、武穴ノ排日運動ノ影響九江ニ及ブ場合
ノ対策ニ付中国官憲トノ会談申進ノ件

第二八号

当地ニ於ケル排日運動ハ比較的平静ナリシニ依リ今日迄支那側ニ対シ警告ヲ発スルコト等特ニ差控ヘ居タル処最近長沙事件ニ亜ギ武穴ニ於テ学生ノ暴行アリ(本官發漢口總領事宛往電第九号) 其余波当地ニ及ブコトナキヤヲ懸念セラレタルニ付本官ハ六月十三日当地交渉員鎮守使及道尹等ヲ歴訪シ予テ御訓令ノ趣旨ニ從ヒ我意ノ存スル処ヲ披瀝スル

ト共ニ右取締方ニ付懇(脱) シタル処前記各官憲ハ何レモ学生等ノ行動ニ対シ常ニ警戒ヲ怠ラザルヲ以テ今後トモ事件ヲ惹起スルガ如キコト無カルベキモ過般警察管理ヨリ訓電ノ次第モアリ旁々万一ノ場合ニ処スル為既ニ其取締方等ニ関スル手筈ヲ定メ居ル次第ニ付キ御安心アリタキ旨答ヘタリ

尚風潮ノ推移ニ注意シ充分警戒中ナルモ不取敢電報ス
在支公使へ転電シ上海、漢口へ暗送セリ

二四〇

六月十五日(発)

在漢口林總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

漢口居留民大会ノ模様ニ関シ報告ノ件

別電

同日在漢口林總領事發内田外務大臣宛電報第一一

六号

漢口居留民大会ノ決議

第一一五号(訂正)

当地方ニ於ケル排日運動ハ支那官憲ノ取締緩慢ノ結果漸次顯著ナル効果ヲ現ハシ既ニ一部ニハ食料品ノ供給スラ拒絶スルモノアル状態ニテ在留邦商ノ受クル影響愈々深刻トナリ当館ヨリ有ユル機会ニ於テ隱忍自重ヲ勸告シ居ルニ拘ラ

メ且将来此種運動ノ根絶ヲ期ス

若夫支那政府又ハ地方官憲ニシテ速ニ這般排日盲動ヲ終熄セシメ得サルトキハ之國際条約義務履行ノ誠意ヲ欠キ且其人民ヲ統率スル能力ナキヲ証スルモノニシテ帝國政府ハ有ユル手段ヲ尽シ支那官民ヲシテ最嚴肅ニ其責任ヲ自覺セシメンコトヲ要望ス

在支公使へ転電セリ

二四一 六月十五日(発)

在漢口林總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

河南省鄭州ニ於ケル排日情況並ビニ在留邦人

ヨリ保護方請願ニ関スル件

第一一八号

最近河南鄭州在留ノ本邦人排日運動ノ為頗ル苦シメラレツツアリトノ報道アルヲ以テ事情調査ヲ兼ネ六月十四日当館ヨリ警察官二名ヲ派遣シタル処行違ヒ二十五日鄭州居留民代表者三名当地著当館へ出頭シテ河南陝西方面ニ於ケル排日狀況ヲ述べ保護方請願シ来レリ鄭州ニハ在留本邦人目下約四十名アリ從來本邦人ノ氣受能ク大正八年排日ノ際ノ如

ズ支那官民ニ対スル憤激ノ狀漸ク昂マリ帝國政府ニ断乎タル処置ヲ要望スルノ声高ク之ガ為居留民大会ヲ開キ其範ヲ示サムコトヲ希望スルニ至リ本官ヨリ未ダ其時機ニ達セス國策上猶隱忍スルヲ得策トスル旨説論セルニ拘ラス居留民ハ是以上黙シテ忍ブ能ハズト為シ開催ノ旨ヲ届出アリ当館ニ於テハ予テノ御訓令モアリ猶隱忍ヲ希望スルモ情狀ヲ顧ミル時ハ無理カラヌ儀ト認メ放任シ置クコトトシ該大会ハ六月十四日夜大正會館ニ於テ開カレ集マルモノ七百余秩序整然タル裡ニ別電ノ如キ決議ヲ通過シ猶実行委員ヲ選ビ当局ニ陳情書ヲ提出スルコトナレリ 北京へ転電セリ

(別電)

六月十五日在漢口林總領事發内田外務大臣宛電報第一一六号

漢口居留民大会ノ決議

第一一六号

居留民大会決議左ノ通

武漢及上流各地ニテ行ハレツツアル排日行動ハ日支通商航海条約ニ依ル邦人ノ權利ヲ蹂躪スルノミナラス終ニ吾人ノ生命財産ニ危害ヲ加ヘ兩國々交ヲ危殆ニ導カントスルニ至レリ依テ吾人ハ支那官憲ヲシテ速ニ此不法行為ヲ鎮圧セシ

三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 二四二

キハ殆んど其影響ヲ蒙ラザリシガ今年五月初旬以来上海方面ヨリ入り込メル学生ノ宣伝ニ依リ同地中学生ヲ主トセル排日運動漸ク盛トナリ五月下旬ニハ錢莊及運送業等ノ取引拒絶ヲ見更ニ今月ニ入りテヨリ学生ノ横暴到ラザルナク旅館ヲシテ日本人宿泊ヲ拒絶セシメ又家主ヲ強迫シテ立退キヲ迫マラシメ食料品商ノ不売ヲ強要スル等不法行為甚ダシキ(脱)支那官憲之ヲ取締ラズ居留本邦人ノ營業居住ハ脅威ヲ感ズルコト日増ニ甚ダシクナリツツアリ当館ヨリハ河南督軍及省長等ニ対シ電報又ハ公信ヲ以テ排日取締ト保護トヲ要求シツツアルモ効果疑ハシク陝西省ニ至リテハ更ニ排日運動劇シクシテ西安ニ於テハ臨城事件ハ日本ノ使噤ニ出ズトノ伝單各所ニ貼付シアリ同地方ヘ本邦人土貨買出しニ出張中ノ者ハ非常ノ苦心ヲ以テ引揚中ナリ

公使、濟南、青島ヘ転電セリ

二四二 六月十九日(発) 在漢口林總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

排日運動ノ悪化ニヨル万県在留邦人ノ漢口ヘ

引揚ゲニ関シ報告ノ件

第一二七号

一九八

四川省万県在留本邦人中三井及日華製油両会社ノ出張員七名ハ六月十四日未明出帆ノ日清汽船雲陽丸ニテ同地ヲ引揚ケ最近宜昌ヨリ相前後シテ当地ニ避難シ来レリ

該社員等ノ談ニ依レハ同地ニ於ケル排日運動ハ五月初旬各界連合会ナルモノノ組織セラレシ以来漸次高潮惡化シ来リ学生団其他ハ該会決議ノ下ニ本邦商人ノ取引、本邦商人ノ貨物積出及本邦汽船ノ交通ヲ妨害シ且使用支那人ヲ脅迫スルコト甚ダシク而モ地方官憲ハ全然之ヲ取締ノ能力ヲ欠如セルノミナラス各貨物ノ汽船積込ニ対シテハ民船側反對(一般外国船ニ対スル)ノ加ハルアリテ旁桐油ノ買付輸出ヲ專業トセル両会社出張所ハ全然營業不可能ノ状態ニ陥レルヲ以テ終ニ引揚ヲ断行セル次第ナルカ其引揚當時ノ如キモ鳥羽艦(之ヨリ先宜陽丸遭難救助ノ為重慶ヨリ下航、碇泊中)保護ノ下ニ漸ク雲陽丸ニ乗船スルコトヲ得タル程ナリト

因ニ同地ニハ前記七名ノ外個人營業者三名アリ今尚居残り居レリ

公使 重慶 宜昌ヘ転電セリ

二四三 六月十九日(発)

小林第一遣外艦隊司令官ヨリ
財部海軍大臣、山下軍令部長宛(電報)

嵯峨汽艇ニ対スル中国群衆ノ暴行ニ関シ報告ノ件

一遣第十八番電

(六月二十一日外務省接受)

十八日附嵯峨艦長報告

十八日午後四時三十分宜昌領事館員同家族等ノ来艦ニ際シ出迎ニ向ヒシ嵯峨汽艇ニ対シ支那人群衆ハ嘲笑拍手シ剩ツサヘ投石シ其ノ内一個汽艇々首ニ命中セリ別ニ損害ハナカリシモ帝國軍艦旗ヲ侮辱セルモノトシテ領事ニ差当リ左記三項ヲ支那官憲ニ対シ抗議方照会シ置ケリ

一、下手人ノ逮捕嚴罰

二、地方最高責任官憲ノ来艦謝罪

三、将来ニ対シ嚴重ナル取締

十九日

二四四 六月二十日(発)

在漢口林總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

中国官憲ノ誠意ナキ排日取締並ビニ在留民救済等ニ関シ請訓ノ件

三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 二四三 二四四

第一二八号

当地方ニ於ケル排日運動ニ対シ地方官ニ取締ノ誠意無キ為メ支那商民ノ対日經濟絶交着々トシテ實現セラレ殆ント緩和ノ傾向ナク六月十二日蕭督軍トノ会見(往電第一一〇号)後更ニ口頭又ハ公信ヲ以テ各支那官憲ニ対シ嚴重ナル取締ヲ要求中ナルモ終ニ誠意ヲ以テ取締ヲ為サス相變ラス漸次関与ヲ試ミテ之ヲ取締ルノ外ナシト為シ甚ダシキニ至リテハ官庁ノ一タル湖北石鉞官局スラ本邦人ニ対シ石鉞ノ売却ヲ拒絶スルニ至リ支那町ニ於ケル生活必需品不売者ニ対スル処分ノ如キモ誠意ヲ以テセサル為引続キ不売者ヲ生シツツアリ是等ノ誠意ナキ取締ニ対シ陳交渉員ヲ詰レハ彼ハ公信ニ於テハ誠意ナキニ非サル旨ヲ答ヘツツ口頭ニテハ之以上督軍ニ非サルヲ以テ如何トモスヘカラサル旨ヲ自白シ居リ此儘ニシテ排日熱ノ自然冷却ヲ俟ツハ我居留民ト対支貿易ノ全滅ヲ期スルニ異ラズ今日ノ如キ既ニ報告ノ通当地在留民中ニハ幾多ノ困窮者ヲ生シ救済ニ関シ当館ニ歎願シ来ルモノ続出スル有様ナルヲ以テ此際断乎トシテ帝國政府ノ威信ヲ示スニ非ズンハ終ニ当地方ニ於ケル我地盤ヲ失ヒ再ヒ回復シ能ハサル悲境ニ陥ル虞アリ依テ在留民救済及我地

盤維持ニ関シ至急何分ノ御詮議ヲ請フ

在支公使、天津、上海へ転電シ広東、厦門、汕頭、宜昌、蕪湖へ暗送セリ

二四五 六月二十二日（発） 在沙市長岡領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

排日取締リニ関スル蕭湖北督軍ノ訓令内容ニ

付報告ノ件

第二〇号

（排日取締ニ付具、曹ニ請訓）
往電第一八号ニ関シ

二十二日小官ハ当地旅団司令部ニ於テ呉佩孚ノ七日発電報ニ基キ蕭督軍ノ寄越シタル排日運動ニ関スル訓令ヲ瞥見シタルガ日人ノ怖ルルハ堅実永久ナル経済絶交ニシテ日人ノ利用セント欲スルハ劇烈ナル行動ナルニ付充分注意セシムベシトアリテ過激ナラザル方法ニ依リ排日ノ実ヲ挙グルコトヲ暗ニ奨励スル意味ニ解セラル右ニ付副官長ハ急激ナル取締ハ却テ不得策ナリト語レルガ右訓令ハ十九日同司令部ヨリ当地各官憲及外交後援会ニ転達セラレタル趣ナルモ誠意アル取締ハ到底望ミ難カルベシ

公使、漢口へ転電シ宜昌へ暗送セリ

二四六 六月二十三日（発） 在上海船津総領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

二十一箇条問題ノ民間的解決方ニ関スル上海
商務總會幹部ノ内話報告ノ件

第一六三号

水野ヨリ左ノ通

排日問題ニ関シ当地商務總會カ副会長シ董事ノ語ル処ニ依レハ斯迄ニ風潮ヲ激成セシメサル考ニテ上海日本商業會議所宛ニ民間ト民間トノ諒解ヲ以テ二十一箇条ノ解決ヲ計ラント欲シテ懇篤ナル書面ヲ送りタルニ対シ極メテ冷淡ナル返書ヲ寄セラレタルハ敝会ノ不滿トスル所ナルニ更ニ新聞ニ公表シ新聞ハ之ニ冷評ヲ加ヘタルヲ以テ董事以下ハ大イニ面目ヲ失シ終ニ一般ノ惡空氣ヲ助長シタルハ遺憾ナリ然レトモ貴國人ハ尚保護ヲ受クル政府アルモ我商人ハ保護ヲ求ムル政府モナシ故ニ其苦痛ハ貴國人以上ナレハ敝会ハ明日大会ヲ開キ内政ノ方法ヲ議スル考ヘナレハ其運動力或程度迄成功シ中央ニ有力ナル政府ヲ作りタル上重ネテ二十一

ケ条問題ノ民間的解決ヲ図ル方針ナレハ今暫ク我等ノ苦衷ヲ諒トシ好意的ニ此運動ノ前途ニ着目シ排日問題ハ之ヲ地方的ニ処理セラレタシ若シ然ラスシテ単ニ強圧的態度ニ出テタリトセンカ排日風潮ハ変シテ真実ノ排日ト化スルモノナレハ此辺ハ十分考慮セラレタシ幸ニ長沙モ趙省長ノ取締嚴重トナリタレハ此上形勢ハ悪化セサルモノト信ゼラルヲ以テ機ヲ見テ増派艦隊ヲ下江セシメラルハ却テ前途ニ好影響アルヘシト語リタルカ其真意排日運動ヲ内政運動ニ乗リ替ヘントスルモノノ如ク察セラル（編註）

編註 以下本事項ニ関係ナキニ付省略

二四七 六月二十五日（発） 在南京林出領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

排日ハ直隸派ノ暗々裡ノ煽動ニヨリ地方官
憲ノ態度如何ニ左右サレル傾向アルニ付其
ノ対処振リ報告ノ件

第四四号

六月十九日小官楊州ニ出張シ同地塩運使及主ナル官民ト再三会食ノ機会アリタルヲ以テ其席上高洲カ多年同地官民ヨ

三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 二四七

リ蒙ムリタル好意ニ対シ感謝スル旨挨拶シタルニ支那側ニテハ高洲カ楊州在勤中常ニ日支相互ノ諒解ニ努メシ為楊州地方人ノ対日感情頗ル良好ナリト述ベタリ帰途同地中国銀行々長ト同船シ会谈セル際排日問題ニ言及シ同人カ日支間ノ感情ノ一日モ早ク回復ヲ要スヘキヲ力説シ今回ノ排日運動ニ関シ直隸派ヨリ内々奨励の通牒ニ接セルモ楊州ニテハ高洲ニ対シ好感ヲ有セル關係上排日行動ニ出テ難シトシラシタリ右ハ排日ノ裏面ニ吳佩孚一派ノ運動アルコトヲ証スルモノト認メシヲ以テ本月二十四日蔡督軍ニ面会ノ際右ニ関シ探リヲ入レタルニ蔡ハ之ニ対スル明答ヲ避ケ各地ニ於ケル学生及諸団体ノ排日運動モ其地方官憲ノ態度如何ニ依リテ如何様ニモナリ得ルモノナリト述ヘ長沙問題勃発以來各省督軍等ノ民意代表ト称シテ中央政府ニ嚴重交渉方ヲ打電セルモノ少カラサルモ蔡督軍ハ未タ何等意見ヲ發表セス沈黙ヲ守リツツアリ江蘇省力之ニ雷同セハ事態益々重大トナルヘキモ蔡督軍カ同地方人民ヲ押ヘテ付和セシメサルコトトシツツアレハ本問題モ懸テ落着クヘキモ解決ハ一日モ早キヲ希望スト述ベタリ又六月二十五日温世珍小官ヲ来訪セル際右ノ問題ニ言及シ長沙ニ於ケル兩々相下ラサル態度

ニテ推移スルハ兩國ノ不利此上ナク解決ハ後日ニ譲ルモ兎ニ角双方対峙ノ形勢ヲ解クコト刻下ノ急務ナリ蔡督軍ヨリ方法ヲ設ケテ勧告シ小官ヨリ我国政府ニ上申シテ互譲ノ精神ニ依リ一先ツ対峙ノ形勢ヲ解カシメ追テ緩々問題ヲ解決スルノ方法ヲ講シテハ如何ト述ヘタルニ付小官ハ右ハ主義ニ於テ全然同感ニシテ出来得ヘクンハ一日モ早く敵対状態ヲ脱セシメ悪影響ヲ他ニ及ボサザランコトヲ希望スルニ付本問題ヲ実行シ置クヘキ旨答ヘ置キタリ右ニ関シ支那側ニ対シ小官ヲシテ執ラシムヘキ処置モアラハ御訓示ヲ請フ
公使、漢口ヘ転電シ上海、杭州ヘ暗送セリ

二四八 六月二十六日 (発) 内田外務大臣ヨリ
在漢口林総領事宛 (電報)

排日運動取締ニ対スル意見具報方等訓令ノ件

第五八号

今次ノ排日運動ニ付テハ政府ニ於テモ相当ノ決心ヲ以テ徐ニ事態ノ推移ヲ注視シ居ル次第ナル処支那ノ不統一ナル現状ノ下ニ排日運動ノ如キ機微ノ問題ヲ捉ヘ徒ニ強硬手段ヲ執ルモ到底満足ナル結果ヲ収ムルコト困難ナルヘシト認メ

員会ト連合シ不日陳情委員ヲ上京セシムル運ニナリ貴地及上海ノ會議所ニ対シテモ同様陳情委員派遣方勧告ノ電報ヲ発シタル筈ナリ
大臣、公使、上海ヘ転電セリ

二五〇 六月二十八日 (発) 在宜昌荒領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

商取引ニ対スル排日団ノ干渉依然継続ノ旨報告ノ件

第五七号

当地ノ排日風潮ハ今尚表面平靜ナルモ商取引ニ対スル排日団ノ干渉ハ依然緩和ノ模様ナク邦商等ノ困窮愈々激甚ナリ惟フニ我官民カ終始隠忍シテ排日運動ノ自然消滅ヲ俟ツカ如キハ支那ノ国民性其他ニ照シ却テ排日団体等ノ乗スル処トナルノ虞アルヲ以テ此際我政府ハ論議ノ応酬以外速ニ断乎タル決意ヲ披瀝スルノ要アルヘシト思惟セラル
尚在支英米人カ長沙事件及各地ニ於ケル排日運動ニ対シテ我方ニ同情シ (脱) 我政府ノ断乎タル措置方ヲ慈愍スルノ風アルハ蓋シ排日風潮カ聽テ一般排外 (殊ニ排英) 思想ニ

ラル貴電第一二八号末段稟申ノ点ニ付テハ貴官ニモ相当意見アルヘシト察セラルルニ付当方参考迄具体的ニ電報アリタシ尚貴地居留民側ヨリモ頻ニ強硬意見ヲ電報シ長沙居留民ノ復帰ニ反対シ又ハ湖南封鎖等ヲ求メ居ル処如此ハ甚タ輕率ト認メラルルニ付此際十分慎重ノ態度ニ出ツル様指導アリタシ

右貴電第一二八号ト共ニ北京ニ転電アリタシ

二四九 六月二十六日 (発) 在漢口林総領事ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

対排貨運動ノタメ商業會議所ヨリ陳情団ノ派遣ニ関スル件

第一三五号

本官発天津宛第五号

貴官宛外務大臣宛第一一四号ニ関シ当地商業會議所ノ意見ニ依レハ天津上海漢口會議所間ニハ已ニ書面ヲ以テ排日ニ対スル意見ヲ交換シ大体纏マリ之以上ノ手段トシテハ各地ヨリ陳情委員ヲ上京セシメ当局ニ排日状況及之ニ依リ (脱) ナル影響ヲ訴フルノ外ナシトノ意見ニテ居留民大会実行委

転換センコトヲ憂慮スルノ結果ニ由ル所尠カラサルヤニ推測セラル
公使、漢口ヘ転電シ上海、沙市、長沙、重慶ヘ暗送セリ

二五一 六月二十九日 (発) 在上海船津総領事ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

北京政変發生ニヨリ排日記事減少ノ感アル旨報告ノ件

第一七〇号

今回北京政変發生以来当地一般ノ輿論ハ直隸派及軍閥ノ攻撃ニ移リ從テ当地支那新聞モ政変ニ関スル記事論說ニ忙殺サレ排日ニ関スル記事論說ハ稍々減少セル感アリ右ハ刻下ノ排日氣勢緩和ノ上ニ頗ル好影響ヲ及ホシツツアルヤニ觀察セラル右御参考迄

二五二 六月二十九日 (発) 在漢口林総領事ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

排日運動ニヨリ窮乏セル在留邦商ノ救済並ニ我經濟的地盤維持ニ付詮議方稟請ノ件

第一四〇号

(排日対応措置)

貴電第五八号及往電第一二八号末段ニ関シ

当地ニ於ケル排日ニ関スル運動ハ四月下旬実業家ノ重モナル者ヲ中心トスル湖北省商界外交後援会ノ成立以来頗ル組織のトナリ我在留民ノ貿易ハ大部分取引中止セラレ殊ニ支那町ニ居住スル邦商ハ場所柄既ニ二ヶ月以上取引皆無ノ状態ニテ多少ノ蓄財アリタル者ハ居喰ヒヲ為シ得ルモ余裕ナキ者ハ其ノ日ノ生活ニモ困難シ居リ本月ニ入りテヨリ当館ニ其ノ窮状ヲ訴ヘ出ツルコト数回ニ上ルヲ以テ当館ニ於テハ實際排日ノ為米資ニ困難スル者アラハ政府ニ稟議シテ救済策ヲ講スヘシト言ヒ聴カセ居ル処事実上米資ニ窮スル者数戸アル模様ナルモ是等ハ今迄ノ処支那町居住者ノ団体タル親睦会ニ於テ救済シ居リ其ノ希望スル所ハ排日ノ形勢ニシテ今日ノ儘ニ進マンカ實際支那町ニ居住スルヲ得ス引揚ノ已ムナキニ至ルヘキヲ以テ排日ヲ圧迫スルカ然ラサレハ何等カノ方法ヲ以テ政府ヨリ彼等ノ現状維持ニ対シ救済策ヲ講セラレタシト謂フニアリ此ノ請願ハ支那町居住者ニ於テ最甚シキモ租界内居住者ト雖今日ニ於テハ殆ト同様ニテ唯周囲カ支那町ニアラサル為脅威ヲ感スルコト前者程ニ

ハ更ニ注意ヲ加ヘントス

在支公使ヘ転電セリ

二五三 七月二日(発)

在蕪湖田中領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

蕪湖地方官憲ノ排日運動取締振リニ付報告ノ件

第七五号

当地排日運動以来支那官憲トノ屢次交渉ノ結果其取締振リ及内部入り込ミ探查セシメタル報告等ヲ綜合シ今次支那側實際ノ取締方針ナルモノヲ測定スルニ各省各地ニ於ケル特殊事情ニ依リ多少ノ手加減ハアルベキモ要スルニ在留邦人ノ生命財産保護ハ十分之ヲ行ヒ其他ノ行動ハ進デ取締ヲ実行セズシテ可ナリトノ中央並ニ省政府ヨリノ内訓ニ基キ夫夫適當ニ措置スル方針ニ在ルコトハ殆ド疑ヲ容レザル所ニシテ一日交渉員來訪ノ際本官ノ今一歩進デ取締ヲ厲行サレ度キ旨ノ要求ニ対シ承知シタル後唯之ガ取締方策ニ関シ今回ノ対日風潮ガ蕪湖一地ニ止マルモノトセバ如何ナル手段ヲ以テモ即時ニ鎮圧シ得ルモ今ヤ既ニ支那全土ノ風潮ト化シタル以上一地而已ニ於テ其鎮圧方法ヲ誤マランカ必ズ惡

アラスト謂フニ過キス而シテ当地ニ於ケル我經濟の勢力ノ実情ヲ查察スルニ我商人カ外商ニ比シ優レタル点ハ資本ニモ信用ニモアラス全ク売込ミ買出ニ際シ親シク支那人ニ接シ或ハ奥地ニ自ラ出張取引ヲ為シ得ル点等ニ存シ当地ノ所謂邦商ナル者ハ大会社支店ヲ除キテハ殆ト皆此種 *Commission merchant* ニシテ排日ノ影響ヲ受クルコト從テ又最大ナリ

翻ッテ他方当地支那官憲ノ排日取締ヲ見ルニ毫モ誠意ナク只管所謂危害行動ノ取締ノミニ腐心シ寧ロ冷静ナル組織的排日ハ之ヲ裏面ヨリ慫慂シ居ルニアラスヤト疑ハルル節アリ從テ何時緩和ノ日ニ向フヤ毫モ見込立タス斯ノ如クニシテ尚一二ヶ月ヲ過キンニハ米資ニ窮スル者ノ数次第二増加シ終ニハ自然引揚ノ已ムナキニ至リ揚子江上流ニ扶殖セル我經濟の勢力ハ根本的ニ覆ヘサルノ虞アリ是レ本官カ居留民ノ救済ハ我經濟的地盤維持ニ関シ閣下ノ御詮議ヲ請フ所以ナリ

尚居留民ノ強硬ナル輿論ハ隣接地タル長沙事件ト根強キ当地ノ排日トニ刺戟セラレ興奮シタルモノニシテ本官ニ於テハ大局ヲ説明シ出来ル丈ケ自重スル様勸導シツツアリ今後

反動ヲ生ジ却テ今以上ニ悪化シ取締益々至難トナルベキヲ以テ漸次消滅ノ手段ヲ用フルヲ可トス即チ成ルベク排日運動ニ直接触レテ措置スルコトヲ避クル一方機会アル毎ニ商人学生間ノ争鬭或ハ北京時局問題等ノ如キ対内的方面ニ彼等ノ氣勢ヲ転換セシムルガ如キ却テ有効ニシテ又既ニ斯ル時期ニ到達シツツアリトノ内話ニ徴スルモ前記方針ノ下ニ自然消滅ヲ待チ居リ到底一氣ニ徹底的措置ニ出デ難キ事情ニ在ルコトヲ裏書シ居レリ当地方ノ最近形勢ヲ視察スルニ学生団ハ表面上盛ニ排貨続行ヲ豪語シ居ルモ其運動上余程倦怠ノ風ヲ生ジ搗テテ資金欠乏ノ為外交後援会ノ基礎薄弱トナリ一方商人側ハ日貨愈々払底ノタメ監視学生ノ隙ヲ見計ヒ邦人商店ニ至リ仕入レヲナスモノ弗々アリ又官憲側モ北京時局問題ノ為地方治安ノ維持ヲ必要トスルニ至リ旁旁此機ヲ利用シ排日運動ヲモ夫レトナク多少真面目ニ取締ラントスル風見エ現ニ六月二十六日我水兵ガ話ノ行違ヒヨリ支那人夫ヲ毆打負傷セシメタル事件ニ対シ学生等ガ忽チ第二ノ長沙事件ナリト称シ騒ギ立テントシタルヲ当方ノ要求ニ応ジ直ニ防遏シ終レル事実アリ又支那商ノ觀測ニ依レバ当地方ニ於ケル日貨排斥運動ハ毎年商売閑散ナル夏枯期

ニ起リ秋口ノ重要仕入レ時期ニ近ヅクニ從ヒ商人側ノ蹶起トナリ漸次終熄スルヲ例トシ本年モ同様ナルベシトノコトナルガ兎ニ角右ノ如ク最早事実上下火ニ向ヒツツアルヲ以テ当方ニ於テモ此際各地ニ於テ何等事件ヲ勃發セザル様防止ニ努ムルト共ニ支那側各方面トノ意思疏通ニ益々重ヲ置キ協力シテ終熄ヲ期スルコト緊要ナリト思考ス

御参考迄

在支公使へ暗送セリ

二五四 七月四日 (発) 在漢口林総領事ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

排日運動ニ対スル在留邦人陳情團ノ出発ニ付
申進ノ件

第一四七号

往電第一一五号ニ関シ

居留民大会開催以來同大会実行委員ハ排日対策ニ関シ引続キ居留民團及商業會議所側ト連合協議中ナリシカ愈々政府及各關係ノ向へ請願陳情ノ為茂木一郎、小川愛次郎及阿部善三郎ノ三名ヲ陳情委員トシテ上京セシムルコトニ決シテ

同委員等ハ昨三日夜出發上京ノ途ニ就ケリ
長沙日本人会代表山本^{ニキチ}モ同行セリ尚一行ハ途中上海、長崎、門司、神戸、大阪等ノ各商業會議所トモ協議打合ヲナス筈ニシテ十三四日頃著京ノ予定ナリ

北京、長沙へ転電セリ

二五五 七月六日 (発) 在蕪湖田中領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

蕪湖ニ於ケル排日状況ニ関シ申進ノ件

第七六号

昨今学生ノ暑中休暇ニテ帰郷スルモノ多ク日清汽船ニ対スル艀船供給停止モ数日前解除セラレ其他一般市中ニ於ケル排日氣勢徐々ニ緩和シ来レルヤニ見受ケラルルモ猶学生会ハ暑中期間日貨検査ノ為私塾ヨリ補充シ邦人店舗附近街路ノ日貨押収丈ケハ今ニ全廃セズ從テ邦商苦痛ノ結果何時衝突ノ動機依然トシテ伏在シ居ル次第ナルガ右ハ学生会ガ最早有名無実ニ等シキ外交後援会ノ残骸ヲ擁シ単独行動ニ出デ居ルモノニシテ屢次嚴談ノ結果最初ヨリハ余程控ヘ目トナリタルモ猶官憲ノ取締ニ手加減アルヲ以テ重ネテ鎮守使

及交渉員ニ対シ今回長沙其他ニ於ケル衝突ハ畢竟スルニ皆日貨検査ヲ導火線トセザル無キニ今ニ該不法行為ノ当地ニ於テ継続セラルルハ危険極リ為ニ一旦大事ヲ惹起センカ敦厚ナル友誼モ全然破壊セラルベシト通告シ急速徹底の取締ヲ要求セリ
尚交渉員ハ玆ニ一週間内ニ更迭スル為交渉上熱心ヲ欠キ居レリ

在支公使へ転電セリ

二五六 七月七日 (発) 在漢口林総領事ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

排日取締リニ関スル吳佩孚トノ会談ニ付申進
ノ件

第一五二号

本官ハ七月二日午後洛陽行予メ蕭督軍ヨリ打電シアリタル為メ直ニ迎ヘラレテ吳佩孚ノ客トナリ尋常ノ挨拶ヲ交換セル後單刀直入排日問題ヲ提言シ揚子江流域其他支那各地ニ於ケル排日運動激烈ナルモ支那官憲ノ取締誠意ヲ欠ク為メ緩和セス之カ為メ我国ノ輿論激昂ノ為メ嵩マリツツアル状

況ヲ述ヘ東亜ノ大局上中原ニ於ケル事実上ノ第一人者タル吳ノ尽力ニ依リ排日取締ノ実ヲ挙ケタシト希望シ且之ハ本官一己ノ希望ニアラス帝國政府ノ意ヲ体シテ態々洛陽ヲ訪ヘルモノナルコトヲ附言シタルカ吳ハ本官ノ叙述中侮傲ノ態度ニテ數回言辭ヲ挿ミ排日ハ学生等ノ運動ナリ小供ノ惡戯ハ捨テ置ケハ止ムヘシトカ長沙事件ハ如何或ハ小供ノ惡戯ニ実彈発射セルハ如何等ノ中言ヲ為シ毫モ好意アル応待ヲ為サス其心中長沙事件ニ最モ重キヲ措ク様子ナルヲ以テ本官ハ長沙事件ヲ説明シ右ハ支那官憲不取締ノ結果起リタルモノニシテ責任ハ全ク支那政府ニアリ而シテ之レ一地方ノ小事件ナルモ現在ノ排日ハ広ク支那各地ニ亘リ条約及國際ノ通義ヲ無視シ日支兩國々交ヲ甚タシク脅威スルモノナリト説明セルニ彼ハ交渉ハ之ヲ外交部ニ向ッテ為スヘク一介武弁ノ関スル限りニアラス等通辭ヲ弄スルニ至レルヲ以テ本官ハ卿ハ東亜ノ大局ヲ顧念セスヤト反問セルニ之ニ對シ彼ハ日支共存ノ要アリト為シ紙片ヲ取りテ中日輔車相依ル唇亡ヒテ齒寒シ等筆ヲ揮ヒ東亜和平ノ必要ヲ認ムル意ヲ示シタルモ飽迄現在ノ排日問題ノ事態重大ナル所以ヲ解セサル如ク長沙ヨリ軍艦ヲ撤退セハ直ニ緩和スヘシトノミ語

リ他人ノ忠言ヲ容ルル余裕ナキ様子ナルヲ以テ本官ハ東亜和平ノ為慎重ナル考慮ヲ望ム旨ヲ語りテ一先ツ交渉ヲ打切り翌三日昼食ノ際ニ於テモ目下排日問題ノ為メ日支国交カ重大ナル脅威ヲ受ケツツアル旨ヲ語りタルニ吳ハ恰モ今朝外交部ヨリ来電アリ之ニ依レハ本問題ハ容易ニ解決スヘシト答ヘ後該電報ヲ示スヘキコトヲ約セリ然ルニ其後電報ヲ見ルニ長沙問題交渉ノ經過ヲ簡單ニ叙述シ長沙領事カ未タ軍艦ヲ撤退セサルモ北京及東京ニ於テ五ヶ条ノ要求ヲ具シテ交渉中ナリ長沙市中ハ静穏ナルヲ以テ日本軍艦撤退セハ一段落ヲ見ルヘシ云々トノ報告ニ過キス依テ本官更ニ吳ノ公館ニ於テ晚餐ノ開始前長沙問題ハ単ニ排日問題ノ一小部分ニ過キス支那側ニ於テ之ヲ取締ラサルニ於テハ益々悪化シ各地ニ長沙問題ノ如キヲ頻発スル虞アリ而シテ今ヤ事態ハ兩國々交ヲ極度ニ脅威シツツアル旨ヲ語りタルモ彼ノ偏狹ナル性格ハ到底今直ニ当方ノ要求ヲ容ルル様子ナキヲ以テ乍遺憾本官ハ之レ以上追究スルノ無益ナルヲ認メ四日朝日支共存ノ必要上排日取締ニ関シ尚重テ卿ノ考慮ヲ求ム旨ヲ別辞トシテ洛陽ヲ去レリ

公使、上海、天津へ転電セリ

付ヲ請フ

在支公使へ暗送セリ

二五八 七月十日（発） 在漢口林総領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

吳佩孚ヨリ排日取締リニ関スル曹錕来電送付

越ノ件

別電 同日在漢口林総領事宛内田外務大臣宛電報第一
六〇号右曹錕来電

第一五九号

本官洛陽滞在吳佩孚ニ折衝ノ際ハ常ニ岡野増次郎ヲモ列席セシメタルガ同地ヲ去ルニ当リ特ニ岡野ニ云ヒ含メ機会アル毎ニ本官来訪ノ趣旨ヲ吳ニ敷衍スル様委嘱シ置キタルカ七月十日岡野来信ニ依レバ彼ハ本官出發後更ニ本官ノ使命ニ付吳ニ説ク処アリタルガ吳ハ六日午後曹錕ヨリ別電ノ如キ電報アリタリ排日モ之ニテ一段落ヲ告グ可シトテ其ノ旨本官へ伝達方岡野ニ命ジタル由ナリ別電曹錕来電ナルモノハ吉田天津総領事發閣下宛往電第一三二号ニ依ルモノト思料セラルル処当館諜報者ノ報告ニ依ルニ蕭督軍ニモ同様ノ

三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 二五八

二五七 七月九日（発） 在上海船津總領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

上海總領事館管内ニ於ケル排日對抗措置トシ
テ新聞ノ利用並ビニ其ノ効果ニ付報告ノ件

第一八三号

当館ニ於テハ東方関係ノ漢英字新聞ヲシテ二十一箇条取消、旅大回収要求ノ不当ナルコト、排貨ハ双方ノ損失ナルコト、支那ノ国恥ハ支那ガ現在ノ如ク無政府状態ニ在ルコト、支那ノ急務ハ外交ニアラスシテ内政ノ整理ニアルコト等ヲ絶エス宣伝論議セシメ其外有利ナル論説及報道ヲ掲載シタル場合ハ遲滞ナク是レヲ訳載セシメ又支那側通信者ヲモ小官ト友誼の関係アルヲ利用シテ我方立場ヲ説明スル通信ヲ掲載セシムルコトニ努力シ何レモ相当ノ効果アルヤニ認メラルモ如何ニセン我方関係ノ漢字新聞ハ発行部数比較的少ナキ為新聞報、申報ノ如キ勢力アル新聞ニ圧倒セララル向アルハ遺憾ナリ本官ハ此外当地ニ於ケル支那新聞記者及実業家ノ有力者ト成ルヘク頻繁ニ会合シ其機会ヲ利用シテ我方ノ立場ヲ説明シ以テ彼等ノ誤解ヲ解クコトニモ努メ居レリ尚新聞利用上必要ナル材料ハ出来ルタケ多ク御送

訓電来レルニ非ズヤト疑ハルル節アルモ未ダ明カナラズ当地表面ノ排日取締ニハ今日ノ処未ダ何等具体的改善ヲ見ルニ至ラズ

北京、天津、上海ニ転電セリ

（別電）

七月十日付在漢口林総領事宛内田外務大臣宛第一六〇号電報
曹錕来電

第一六〇号 別電

海禁ヲ開キテヨリ商務日ニ繁盛ヲ致シ各国ノ通商齊シク各条約ヲ訂定シテ之ヲ尊重シ以テ友誼ヲ表示シ而シテ邦交ヲ維持セリ然ルニ近來聞ク処ニ依レバ民間ニ日貨排斥ノ挙アリト右ハ事中日邦交ニ関スルモノニシテ若シ嚴重取締ヲ加ヘサルニ於テハ好事ノ徒藉リテ事端ノ釀成ヲ鼓吹シ或ハ重大交渉ノ動機トナルヲ誠ニ恐ル之ヲ雷ニ邦交ニ有害ナルノミナラス国家ノ前途ニ關係浅カラサルヲ思ハシム特ニ電シテ右御承知ヲ願度ク願クハ対日行動ニ関与スル人民ニ転シ官界死活法ヲ設ケテ取締ヲ為シ日本在留者ニ保護ヲ加ヘラル様相成リ以テ公法ノ尊重ヲ示シ国交ノ敦篤ノ意ヲ致スヲ得ハ奇手之ニ優ル無シ特ニ電シテ御觀察ヲ請フ

北京、天津、上海へ転電セリ

二五九 七月十三日（発） 在漢口林総領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

排日取締リニ関シ蕭督軍ニ申入レノ件

第一六一号

七月十二日蕭督軍ヲ訪ヒ曹錕ヨリ呉佩孚ニ宛テタル排日取締電報ヲ示シタル所蕭ハ自分ニモ同様ノ来電アリタル旨ヲ語リタルニ依リ此機ヲ以テ更ニ排日取締ヲ嚴重ニセムコトヲ求メタルニ蕭ハ外交後援会等ノ団体ヲ解散スルコトニハ同意セサルモ是等団員其他ノ日貨検査及本邦商人ト取引セル支那商人ニ罰金ヲ課スル不法行為等ヲ嚴重ニ取締ルヘキコトヲ約セリ此日ノ会見ニ於テ蕭督軍ハ従前ニ比シ多少積極の取締ヲナスヘキ様子ヲ示シタルモ果シテ如何ナル程度迄約言ヲ実行スルヤ今ノ所不明ナルカ当地ニ於ケル排日運動ハ商務總會ヲ中心トスルタケ夫レタケ組織の二行ハレ今日迄本邦人ノ生命財産ニ直接危害ヲ加フル如キ暴行ヲ見サルモ本邦商人トノ經濟絶交ハ可ナリ徹底的の二行ハレ居ルヲ以テ今後支那側ニ於テ多少積極の取締ヲ実行スルトスル

岡ノ帰來後更ニ積極的の二排日緩和ニ資スル方法ヲ執ラシメ度キ積リナリ右ノ外本官着任後新ニ鄂報ナルモノニ關係ヲ付ケ微力ナルモ排日緩和ニ努メサセツアリ又去ル五月新ニ発刊セラレタル米國系ノ「インデペンデント・ニューズ」記者ニハ出來ルタケ接近シ日本ノ態度ヲ諒解セシムルニ努メ目下ノ処排日の筆法ヲ弄スルカ如キコトナカラシメツツアリ

二六一 七月十七日（発） 在漢口林総領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

蕭督軍ノ外交後援会ニ対スル排日中止命令ニ

関シ申進ノ件

第一六六号

往電第一六一号ニ関シ

蕭督軍ト会見ノ翌日（七月十三日）伊藤洋行及ヒ日清洋行ヨリ支那人ニ売込ミタル綿布廿六俵ヲ支那街運搬ノ途中外交後援会ノ為取押ヘラレタル事実アリ目下支那側ニ交渉中ナルガ陳交渉員ノ談ニ依レハ十三日蕭督軍ハ外交後援会役員中ノ主ナルモノヲ招致シ対日經濟絶交日貨ノ検査及ヒ石

三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 二六一 二六二

モ急速ナル排日緩和ヲ見ルコト困難ナルヘシト史料ス
公使、上海へ転電シ沙市、宜昌へ暗送セリ

二六〇 七月十三日（発） 在漢口林総領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

漢口総領事館管内ニ於ケル排日對抗措置トシ
テノ新聞ノ利用並ビニ其ノ効果ニ付報告ノ件

第一六三号

当館ニ於テ從來ヨリ連絡ヲ取り居ル新聞ハ「セントラル・チャイナ・ポスト」及漢口新聞報ノ二ツナルガ前者ハ所有主ニ於テ良ク本官ノ趣旨ヲ体シ排日ノ（脱）セイタル今日ニ於テモ盛ニ日本ノ為メニ弁護シ支那人ノ誤レルコトヲ論議シツツアルガ後者ハ当地漢字新聞中最モ有力ナルモノニシテ從來東方通信ノ岡ヲ通ジテ当館ト連絡シ補助ヲ与ヘ居リ同人目下内地旅行中ナルヲ以テ本官ハ未タ直接ニ何等ノ措置ヲ執ラザルモ同紙ハ支那論界ノ空氣昨今ノ如キ有様ナルヲ以テ遺憾乍ラ絶對ニ排日記事ヲ掲載セサル程度ニ至ラザルモ初メヨリ單ニ排日運動ノ事實報道ニ留メ決シテ煽動的態度ヲ執ラズ最モ穩健ナル方針ヲ執リツツアリ依テ不日

鉅官局ニ対スル干涉ノ三事ヲ中止スヘキコトヲ命シタルカ該命令ニハ武力ヲ伴フヤヲ反問セルモノアリシニ対シ督軍ハ武力ヲ用ヒサル旨答ヘタル為十四日同会ノ役員会ニ於テハ石鉅局ニ關スル一事以外ハ督軍ノ命ヲ奉セサルコトニ決シ同会ニハ会ノ要求ニ依リ陳交渉員自ラ出席シ督軍ノ命ヲ遵奉スヘキヲ切ニ勸告セルニ拘ラス容ルル処トナラサリシ由ナリ右ノ如キ状況ニシテ官憲ノ積極的取締ハ強力ヲ伴ハサル為未タ事実トナリテ現ハレス從テ当地方ニ於ケル排日運動ハ表面促進ノ期ヲ超ヘテ沈滞ノ期ニ入レル如ク見ユルニ拘ラス対日經濟絶交ハ實際ニ於テ毫モ緩和ノ傾向ナシ尚本件ニ關シテハ不取敢陳交渉員ヲシテ督軍ニ報告請訓セシム

本官自身ハ更ニ一兩日中蕭ニ交渉ノ予定ナリ

二六二 七月十八日（発） 在南京林出領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

排日ノ原因並ビニ実情及ビ其ノ対策ニ関シ査

報ノ件

第五二号

(排日実情及対策審判ノ件)

貴電合第一三二六号ニ関シ

一、遠因ハ支那人ノ利権回収熱及從來支那政治上ノ一党一派ニ対スル我政府ノ露骨ナル援助近因ハ青島取返ニ成功セルヲ以テ旅大モ之ニ倣ハムトセルコト当地ニハ米人經營ノ学校教会多ク從來關係米人ノ一部ノ煽動アリシハ事実ナルモ今回ハ認メラレズ

二、從來ノモノヨリモ内地深ク行亘リ表面ノ運動稍静マリシモ取引妨害ノ手段巧妙ナリ

三、学生不良分子一部ノ米国宣教師日本品ノ模倣支那品取扱者及外国品取扱商人等ノ主唱又ハ運動ニ依リ学業ヲ抛擲シ此運動ニ依リ男女学生互ニ往来スルコト没収品又ハ罰金等ニテ夫々慾ヲ充タシ得ルコト等ガ面白キラシク政治家及一部宣教師等ノ出金以外ハ脅迫ニ依ルカ自己擁護ノ為ニスル商人ノ贖金及罰金等ニ依ルモノニシテ今回当地ニテ贖金ガ少カリシコトモ運動ノ振ハザリシ一因ナリ

四、当地方ニテハ一部米国宣教師ノ煽動以外我商品及企業ニ対シ競争ノ立場ニ在ル支那当局者ノ煽動ト認ムベキモノナシ

五、中央政府ノ威信失墜ト共ニ各省長官ヨリ一地方ノ官吏

ルカ先方官憲ニシテ我在留民保護ニ関シ誠意ヲ認メ難キモノアルコトヲ充分突止メタル時ハ一々実例ヲ列挙シ之ヲ發表シ内外人ヲシテ支那官憲ノ無力ニシテ誠意ナク我方トシテ已ムヲ得ズ自衛ノ途ヲ執ル他ナキヲ首肯セシムル方法ヲ執リ我方ノ力ヲ以テ在留民保護ノ措置ヲ講ズルカ或ハ保護ナキ地方ニ在留スルコト不可能ナリトシテ一時在留民ヲ一定ノ地点ニ避難セシメ其罪全然支那側ニ在ルコトヲ發表シ之ニ伴フ損害賠償ヲ中央政府及各地方官憲ニ要求スルノ処置ニ出ヅルコト必要ナラム輸入雜貨類ハ(不明)少々宛支那人ノ手ニ渡サルル場合商標ヲ變更シテ支那人名義ニテ郵便小包ニ託シ奥地ヘ仕向クルモノアリ(脱)及長江一帶ノ雜穀等ハ支那人名義ニテ外国船ニ積込ミ上海ヨリ日本船ニ積込ミ輸出スル方法ヲ執リ從來通り取引シツツアリ

九、各地ノ排日行動ニ統一ナク孰レモ大袈裟ニ發表シ關係者ハ其私腹ヲ肥スニ抜目ナキヲ特徴トス彼等ガ日本ノ強力ニ抵抗スルニ消極的不買同盟ヲ以テシ日本ノ反省ヲ促ガシ先ヅ國產ヲ興サムトスル点ニハ同情スルモ彼等ガ執レル方法ニ於テ尤モト認メラルルモノヲ發見スル能ハズ

ニ至ル迄地方人民ノ反感ヲ怖レ徹底の取締ヲ為スコト能ハス政權ノ爭奪ノ甚シキ地方及不安定ノ地位ニ在ル官吏ノ管下ハ一層取締不完全ナリ

六、在留邦人ハ出来ル丈ケ支那人ニ親切ニシテ經濟的ニ連絡ヲ結び会社經營者ノ如キモ今一層支那人ニ接近シテ交際スルヲ要ス

七、認ムベキ程ノ影響ナシ唯列國協同對支態度ノ強硬ナル新聞記事ニ依リ一般ニ憂慮シツツアリ

八、我對支行動ハ常ニ英米等ト協調シツツアルコトヲ支那人ニ知ラシムルト共ニ英米等ヲシテ支那ノ内情ヲ知ラシメ排日ノ利権回復ニ原因セルコトヲ明ニシ排日ハ追テ排外ニ傾クベキコトヲ知ラシメ我對支行動ニ就テハ他國ノ誤解ヲ避クルコトニ注意シ支那中央政府ニ對シ各地ニ於ケル排日取締ヲ強要スルト共ニ成ルベク各地方ニ於テ其地方ノ事情ニ応ジ極力之ガ對策ヲ講ズルコト必要ニシテ各地ニ於テハ支那側ノ言論機關ノ論調及支那人ノ行動等ニシテ苟モ不都合ノ点アルニ於テハ容赦ナク一々支那當局ニ交渉シ之ヲ取締ラシメ我方トシテハ飽迄輕拳妄動ヲ戒メ決シテ暴力ヲ以テ之ニ報ヒズ先方取締ノ実績上ラザ

例ヘバ侮辱の文字ノ貼紙不謹慎ナル示威運動貨物検査沒收焼棄廣告破棄邦人ニ對スル侮辱的行動邦人ニ對スル日用品ノ不売等

十、列強協同ノ圧迫又ハ相當力アル中央政府ノ樹立及支那人一般ガ日本ガ英米等ト真ニ協調シテ決シテ外交的ニ孤立セザルコトヲ覺ユルコト等ニ依リ排日運動モ下火トナルベシ

十一、從來日本向商品ヲ取扱ヒシモノハ日支双方共ニ非常ニ困リ居レリ日本品類似ノ商品製造ノ支那人及同様ノ外國貨物取扱ノ外人其他支那人及外人經營ノ汽船会社等ハ本運動ニ依リ利益ヲ占メツツアリ

十二、支那人ノ製造工業用器具及医薬品等ニシテ支那人ノ造レザルモノハ種々ノ方法ニテ取引セラレ又信用アル邦人医師ノ如キハ大ナル影響ヲ受ケ居ラズ、委細文

二六三 七月十八日(發) 在漢口林總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)

漢口ニ於ケル排日運動ノ実情並ビニ對策二開
シ申進ノ件

(一) 今回排日風潮ノ近因ハ野心政治家ニ依リ唱道セラレタル二十一ヶ条及旅大問題ナルモ其ノ遠因ハ諸工業ノ勃興ト誤レル対日觀念(即チ日本ハ絶エズ隙ヲ窺ッテ支那ヲ侵略セントスル野心アリトノ伝統的危惧心)亦与ッテ力アリトス

(二) 前回ノ如キ暴行等ナク表面平穩ナルガ如キモ根底ハ甚ダ強固ニシテ曩ニハ日貨抵制ナリシガ今ヤ經濟絶交ヲ標榜ス

(三) 總商会、各商工団体及學生之ヲ主唱シ運動シツツアリ、排日ガ自己ニ有利ナルコトト直接間接ニ多少ノ資金ヲ提供シツツアルハ想像ニ難カラズ

(四) 従来一部欧米人ノ援助煽動アリシ(脱)今回ハ殆ンド之ナキガ如シ、尤モ日本ト競争者ノ地位ニ在ル一部支那當業者ノ援助煽動アルハ疑ナキガ如シ

(五) 当地支那官憲ハ我方再三ノ警告モアルニ因リ極力取締リ居ル為メ學生ガ日本品ヲ検査或ハ差押ウルガ如キコトナク從テ外部ニ現ハルル暴行等一切之ナシ、尤モ外交後援會ニ對シテハ積極的取締ヲナスコト能ハズ僅カニ説諭ヲナスニ止ルガ如シ、蓋シ中央政府ノ威力地ニ落チタル今

(3) 若シ夫レ正當範圍内ニ行ハルル經濟戰爭トシテノ排日貨ニ對シテハ須ラク優良品ヲ安価ニ提供スルノ外策ナカルベク、其ノ第一義ハ本邦ニ於ケル物価ノ低落ヲ計ルニ起因スベシ

取引實際上適當ナル手段ナシ或ハ商標外装等ヲ變ジ又ハ外人ノ荷物トナスベシト云フモノアルモ大局ヨリ見テ良策ニアラズ

(六) 尤ト認ムベキモノナシ但官憲ノ取締ニ関シ國民ノ良心ヨリ發露セル日貨排斥ハ如何トモスル能ハズト称スルハ善意ニ解シ尤ナル申分ナリ但シ之ヲ口実トシテ不良各種ノ強制暴行ヲ看過スルハ不都合モ甚ダシ劣貨ハ國貨ニ對スルノ名詞ニシテ本邦品ヲ指ス必シモ品質劣惡ノ義ニアラズ

(七) 予測シ難シ但實際各商品其需要期ニ入り或ハ為替有利トナリ邦貨割安ノ期至ルカ若クハ支那商力經濟絶交ノ苦痛ヲ感ズルニ至ラバ終熄ノ期遠カラザルベシ現ニ最打撃ヲ受ケツツアリシ船舶業ノ如キサヘ昨今形勢稍々緩和サレントスル徵候アルガ如シ

(八) 排日貨ニ依リ支那人側ハ本邦品ノ代用トシテ劣惡ナル支

日支那地方官憲ガ其ノ地位ヲ保ツト否トハ一ニ民衆ノ輿論ニ在リ、若シ表面ヨリ嚴重ニ排日ヲ抑圧センカ忽チニシテ其ノ地位ヲ失フノ虞アレバナリ

(九) 此際特ニ改善スベキ点アリトモ思考セズ

(十) 特ニ惡影響ヲ及ボセルモノアリトモ覺エズ尤モ近時發表セラレタル各地商業會議所ノ決議宣言等ハ却テ一部排日派ノ感情ヲ刺戟シタルカ如キ感アリ

我方一般對策トシテハ政府ノ嚴重ナル交渉ノ下ニ支那政府ヲシテ排日ニ關スル各種決議等ヲ取消シ、決議ノ実行ニ伴フ強制手段ヲ絶對ニ禁止セシムル等徹底の取締ラシムルコトヲ要ス、苟クモ此一ニシテ不可能ナランカ姑息ナリトモ臨機応變ノ一時的緩和手段ヲ用キツツ自然的終熄ヲ俟ツ外ナク根本的對策トシテハ

(1) 支那ノ内政ヲ改善シ国内ノ秩序ヲ得シムルニアリ、現在ノ國情ニ於テ取締ヲ交渉スルモ其ノ効果殆ンド期待シ難シ

(2) 支那排日思想タル深甚已ニ久シ或ハ第二ノ民族性タラシコトヲ恐ル故ニ誤レル排日觀念ノ轉換根絶ヲ期セザル可ラズ

那品又ハ高価ナル欧米品ヲ使用セザルベカラズ此損害ハ下級社会ニ特ニ大ナリ邦人側トシテハ当地限りノ取引ニハ甚ダシキ不便ナキモ奥地向輸送不能ナルヨリ輸入貿易上結局海(産?)物其他簡易工業品ハ文房具、化粧品、「タオル」、石鹼、燐寸、顔料ハ通ジテ約五割減其他雜貨約三割減、綿絲布等約二割ノ損失アルベシ、寧波、通州、温州方面邦船回航不可能、日清汽船長江航路支那人積荷ハ七、八割減、南清航路ハ約(脱)但乘客ハ大差ナシ金融業ニハ直接大影響ナシ保險ハ新規契約上大障礙アリ欧米品ハ多少売行増加セルハ疑ナキモ数字ヲ掲ゲ難シ支那工業品ハ欧米品ニ比シ利スル所大ナルベシ値段其他ニ於テ日貨ニ代用シ得ル可能性多ケレバナリ

(十一) 輸出ハ殆ド影響ナシ輸入モ代用品ヲ得ザル藥品類、紡績、木材等上海需要品ハ殆ド影響ナシ供給ガ殆ド本邦ニ限ラルル商品例ヘバ海產物ノ如キ影響最大ナルモ緩和後直ニ回復セシムベク但簡易工業品ノ販路回復ハ甚ダ困難ナルヘシ

二六五 七月二十五日（発）在漢口林総領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

排日ノ継続ニヨリ邦人ノ生活困窮者増加ノ傾向アルニ付救済方詮議アリタキ件

第一七三号

当地ニ於ケル排日情勢ハ未ダ格別ノ変化ナク先般来邦商ノ支那商ニ売リ込メル綿絲布ニシテ外交後援会ノ為取押ヘラレタルモノ六件ニ上リシガ嚴重交渉ノ結果今日迄ニ五件ヲ返還セシメタリ官憲ノ取締ハ從來ニ比シ稍々嚴重トナリシコト疑ナキモ今猶勸告説諭ヲ主トシ処罰ヲ加ヘザル為未ダ緩和ノ徴ヲ示サズ但蕭督軍ニ於テ（脱）ノ如キ邦貨ノ検査禁止ヲ誠意ヲ以テ実行スルニ至ラバ漸次緩和ヲ見ルベキニ重ヲ置キ支那官憲ニ取締ヲ督促シツツアリ排日ノ情勢右ノ如クナルヲ以テ在留本邦人ノ窮状愈々甚ダシク生活費ノ救助ヲ当館ニ願出タル者既ニ数戸ニ上リ当館ニ於テハ之ヲ直ニ民団ニ移シテ救済策ヲ講ゼシメツツアルガ此種ノ困窮者ハ排日ノ継続スル限り漸次増加ノ傾向ニ在ルヲ以テ宜昌発閣下宛電報第六九号電稟ノ次第ハ当地ニモ適用アルモノトシテ御詮議相成度シ

カラズ、御来示ノ如ク直隸派ニ於テ取締ノ誠意ヲ有スルニ於テハ先ツ蕭督軍ヲシテ排日取締ノ布告ヲ發セシムル電訓方御配慮相成度ク右布告ノ發布ハ形式ニ過ギザルガ如キモ排日ニ飽足ラザル当地支那商人ハ久シク之ヲ渴望シ居リ、且陳交渉員ノ如キモ之ヲ希望シ督軍ガ何故ニ之ガ發布ニ同意セザルカニ付密カニ疑念ヲ抱キ居ル際ナルヲ以テ是非北京又ハ保定ヨリ蕭督軍ニ取締布告發布方訓令相成ル様閣下ノ御配慮ヲ得タシ

大臣、天津へ転電セリ

二六七 八月一日（発）在漢口林総領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

排日対策ニ付追報ノ件

第一八〇号

宜昌領事電報第七二号

往電第七〇号ニ関シ左ニ追報ス

い、我執ルヘキ対策ヲ応急のト根本のノ二ニ分チテ卑見ヲ

述フレハ左ノ如シ

応急的ノ重モナル対策

三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 二六七

在支公使へ転電シ宜昌、九江、沙市、蕪湖へ暗送セリ

註 末尾宜昌発閣下宛電報第六九号ハ七月二十二日蕭電

（欠号）救済願出ノ小商人ノ件ナリ

二六六 八月一日（発）在漢口林総領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

積極的排日取締リノ為蕭督軍ノ取締布告發布

ノ要アル旨具申ノ件

第一七九号

本官発在支公使宛電報

第一三六号

七二号？（排日取締訓令ノ影響如何）
貴電合第六二二号ニ関シ蕭督軍及当地官憲ノ排日取締ハ従前ニ比シ稍見ルベキモノアリ外交後援会ノ手ニ取押ヘタル綿絲綿布等モ当館ノ交渉セルモノ全部還附済トナリタルガ未ダ排日取締布告ノ發布ト排（日）団体ノ解散ニ同意セザル為一般人民ハ今猶官憲ノ意思ハ単ニ交渉案件ノ發生ヲ恐ルルニアリテ排日ノ取締ニアラズト考ヘ居ルガ如ク殆ド徹底的ニ対日絶交ノ實現セラレタル当地ニ於テ具體的ニ排日緩和ヲ實現スルニハ少ナク共官憲ノ積極的取締ニ俟タザルベ

「イ」中央及地方官憲ヲシテ有ラユル排日貨ノ運動ニ対シ其ノ取締上ノ責任ヲ保障セシムルコト（此ノ場合条理ノ応酬ノミニテ効果微弱ナルトキハ自衛手段其ノ他ノ断然タル措置ヲ執ルコトアルヘキ旨ヲ警告スルコト）

「ロ」我商業會議所カ先ツ支那商務總會ノ反省ヲ促シタル後同会ヲ通シテ排日ノ息止ヲ計ルコト

「ハ」英米仏其ノ他ノ各国ヲシテ排外思想ヨリ発露スル排日運動ニ対シテハ日本ト不可分ノ關係ニアル所以ヲ感得セシメ以テ彼等ノ反対的輿論ヲ喚起セシムルコト

「ニ」自己ノ商略上排貨運動ヲ煽動スル支那商人ノ驅逐策ヲ講スルト共ニ他面排貨運動ニ依リテ損失ヲ招キツツアル支那商人側ヲシテ反対的ノ運動ヲ起サシムルコト

「ホ」当地方限リノ商取引ニ於テ排日緩和と上特ニ有効ナリト認メラルル妙案ナシ

根本的ノ重モナル対策

「イ」日本ノ対支政策トシテハ恩德愛撫主義ノ外威信主義ヲモ適宜併用スルコト

「ロ」日本ハ対支問題ニ付他国ト協調ヲ保ツト共ニ他面又國際の主導ノ地位ヲ把持シ支那ヲシテ伝統的ノ外交政

策ヲ弄スヘキ余地ナカラシムルコト

「ハ」日本朝野ノ人士カ親睦友好ナル態度ヲ以テ支那国民ヲ扶掖誘導スルコト

「ニ」我実業家ハ利益共同主義ヲ基礎トシテ対支發展ヲ計リ以テ日支両国ノ經濟の提携ヲ策スルコト

「ホ」在支本邦人ノ素質ヲ向上スルコト

「ヘ」支那ニ於ケル宣伝機關ヲ拡大整備スルコト

(4)支那官民ノ排日ニ関スル申分中ニ何等是認シ得ヘキ点アルヲ認メス

(+)今次排日ノ終熄期ハ的確ニ予測シ難キモ支那一般ニ付テ見レハ臨城事件以来一般外国人ノ対支感情ニ変動ヲ来シタルト日本側ノ輿論又強硬トナレルトニ依リテ排日風潮ハ漸次緩和ノ道程ヲ辿リツツアルカ如シ尙当地方ニ於ケル排日ハ元來漢口其ノ他ノ地方ニ追從シテ發生シタルモノナレハ其ノ運動ヲ息止スル場合ニ於テモ亦是等ノ地方ニ倣フコトトナルベシ

(+)排日ニ伴ヒ最打撃ヲ蒙ムレルハ日清汽船会社ナルカ漢口宜昌、重慶宜昌間ノ二航路ニ於ケル最近三ヶ月ノ実損高ハ約銀三十万弗ヲ算スヘシト云フ尙支那及欧米ノ当業者側ハ

「ロ」排貨見越ノ思惑買ノ増加シタルコト

「ハ」支那財界ノ不況ニ依リテ一般物貨ノ低落ヲ来シタルコト

「ニ」銀貨ノ下落ニ依リ輸入上有利ナルコト
等ノ事由ニ依リ未タ甚シク不振ヲ来スニ至ラス

二六八 八月五日 (発) 在重慶貴布根領事代理ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

重慶總領事館管内ニ於ケル排日對抗措置トシ
テノ新聞ノ利用並ビニ其ノ効果ニ付報告ノ件

第二八号
貴電合第一三二一号ニ関シ

当地ニ於テハ曩ニ御許可以来支那新聞ト連絡方頻リニ努力中ナルモ何分右ハ經濟絶交運動開始後ナル為抄々シキ結果ヲ見ズシテ未ダ彼等ヲ利用シ得ル程ノ關係進捗セズ從テ一般ニハ積極の措置ヲ施スニ至ラズ

二六九 八月六日 (発) 在蕪湖田中領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 二六八 二六九 二七〇

此ノ機ニ際シテ自然相応ノ利益ヲ収メツツアルカ如シ其ノ他棉糸布商及支那人相手ノ小売商店ハ例年ニ比シ約八割内外ノ損害ヲ招キツツアル模様ナリ

(+)当地方ノ実例ニ就テ見ルニ排日ニ拘ハラス我漆輸出商ハ競争者タル支那及外国ノ当業者ナキト国産奨励ノ意味ニ於テ殆ト排日団ノ妨碍ヲ受クルコトナキハ注目ニ値ス

尙当地方ニ於テ排日終熄後取引回復ノ見込アル重モナル商品ハ棉糸棉布二品ナルヘシ

(+)対支輸入貿易カ輸出貿易ニ比シテ著シク不況ヲ呈シツツアルノ理由ヲ示セハ左ノ如シ

対支輸入ノ場合ハ

「イ」排貨運動ハ輸出ノ場合ニ比シテ劇烈ナルコト

「ロ」支那政局ノ不安定ト支那財界ノ不況トニ依リテ一般購買力ヲ減殺シタルコト

「ハ」銀貨ノ低落ニ依リテ輸入上ノ不利ヲ来セルコト等ノ影響ニ依リ著シク不振ヲ示シツツアリ

対支輸出ノ場合ハ

「イ」国産奨励ノ見地ヨリ排貨運動ハ比較的緩慢ナルコト

仏国商品広告船ニヨル国恥記念日示威運動狀況等ニ関スル映写ニ付報告ノ件

第八五号

本官発上海宛電報第二号

南京領事宛公領第一三〇号貴信ニ関シ

仏国商品広告船ハ四日下流ヨリ入港同夜江面ニ於テ商品広告ニ関スル幻燈其他活動写真ヲ映写シタルカ最後ニ活動写真ニテ支那軍隊ノ檢閲狀況ヲ現ハシテ支那人特有ノ誇大心ヲ満足サセ置キ次ニ貴地ニ於ケル国辱記念日当日ノ示威運動狀況ヲ映写シタル点ハ何等意ヲ用ヒ居ルモノノ如ク多数觀衆中殊ニ学生ノ心氣ヲ昂奮セシムルモノアリト認ム尙当夜觀衆中溺死セントシタルモノアリ警察庁ヨリ交渉ニ依リ五日本映写ヲ中止シタルカ逐次上流各地ニ於テ同様ノ映写ヲ試ムルモノト察セラル

大臣へ転電セリ

二七〇 八月十四日 (発) 在漢口林總領事ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

陝西督軍ニ対シ邦商ノ桐材買出ヲ阻止セザル

三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 二七一

機外交部ヲシテ訓電方配慮アリタキ件

別電 同日在漢口林総領事発内田外務大臣宛電報第一八七号
陕西出張ノ蔵本書記生ノ報告電報

第一八六号

本官発北京宛電報第一四〇号

目下陕西ニ出張中ノ蔵本ヨリ別電ノ通り報告アリタルニ付
外交部ヨリ陝西督軍ヘ三聯軍ニ依ル桐材ノ運出ヲ阻止スル
コトヲ止メ之ヲ保護スル様至急訓電スル様御配慮ヲ請フ
外務大臣ヘ転電シ青島ヘ暗送セリ

(別電)

八月十四日在漢口林総領事発内田外務大臣宛電報第一八七号
陕西出張ノ蔵本書記生ノ報告電報

第一八七号 (別電)

(八月十五日接受)

督軍ハ外交部ニ電報シテ民国十年天津佐藤洋行ノ木材買出
ヲ拒絕シタル前例ニ照シ伐材買出ヲ禁止スヘキモノナリ海
関ノ認メテ三聯軍発給シタルニ応スヘキヤ請訓中ニシテ他
省ニ於テ故障ナキニ独リ陝西省ノミ合法ノ通商ヲ阻止スル
ハ不都合ナリトスル当方ノ抗議ニ対シ外交部ト稅務署トノ

二七二 八月二十一日 (発)

在漢口林総領事ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

湖北督軍ニ対スル排日取締令発布ノ要求並ビ
二日中実業家間ノ意思疏通ノ為ノ施策ニ付報
告ノ件

第一九七号

蕭督軍ハ十六日本官トノ会見後部下ノ各官憲ニ対シ排日取締
ニ関シ嚴重ナル訓令ヲ発シ外交後援会及其他ノ排日団体
ニシテ本邦人取引ノ貨物検査ヲ為ス者アル時ハ単ニ検査ノ
当事者而已ナラズ之ニ関係セル幹部ノ有力者ヲモ捕縛スル
旨商總會等ヘ通ジタル為排日運動者ニハ勘ナカラザル虞ヲ
来シ十七日以来貨物検査ヲ中止スルニ至レリ然ルニ督軍ハ
他方取締布告ニ関シ直隸、江蘇、江西、安徽等ノ督軍省長
等ニ問ヒ合セタルニ何レモ本件ノ布告ヲ出シタルコトナキ
旨回電アリタル趣ヲ (脱) 既ニ嚴重ニ訓令シテ検査ヲ止メ
シメタル以上特ニ布告ノ必要ナカルベシトノ意味ヲ廿日陳
交渉員ニ伝ヘ本官ニ伝言ヲ命ジタル由ニテ廿一日陳ヨリ其
旨談話アリ陳ハ本官ガ督軍ノ不信ヲ鳴ラセルニ対シ彼モ亦
督軍ガ布告発布ヲ日本領事ニ約束セルコトヲ外交部ニ電報

三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 二七二 二七三

二二二

解釈ノ訓電ノ来着ヲ待ツヘキヲ要望セリ就テハ天津ニ於テ
田村洋行ニ対シ伐材買出ノ為発給シツツアル三聯軍ノ実例
ヲ示シ外交部ヲシテ阻止スルノ不当ナル旨督軍ニ電訓セシ
ムル様交渉スルホカ途ナシ

二七一 八月二十日 (発)

在沙市長岡領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

沙市外交後援会ノ排日奨励布告等ニ関シ断乎
タル態度表明ノ要アル旨申進ノ件

第二八号

当地外交後援会ハ十九日排日永続ノ為日本側ハ最近従前ノ
冷静ナル態度ヲ失ヒ狼狽ノ氣味ヲ表ハシ来リ居リ旅大回收
ノ時機モ近ツケルニ付一層排日ヲ勵行スヘシトノ布告ヲ発
シ居レルガ当地警察局長モ嘗テ小官ニ対シ排日緩和ノ為日
支条約ニ関スル日本側ノ讓歩ヲ希望スルカ如キ口吻ヲ洩セ
ルコトアリ此際本邦側ヨリ然ルベキ方法ヲ以テ此点ニ関シ
更ニ断乎タル表明ヲ為スノ必要アルヤニ思考ス御参考迄
公使ヘ転電シ上海、漢口、宜昌ヘ暗送セリ

濟ナルヲ以テ迷惑シ居ル旨ヲ語レリ依テ本官ハ督軍ニ向テ

約束ノ布告発布ヲ慫慂スル様表面陳ニ要求スルト同時ニ本
官ヨリモ直接ニ私信ヲ以テ約束ニ從ヒ速ニ取締布告ヲ発布
セラルル様督軍ニ申送レリ

尚表面ノ交渉多少進捗ノ傾向アルヲ機トシ当地ニ於テモ天
津上海ニ於ケルガ如ク宴会等ニ依リ日支実業家ノ意思疏通
ヲ図ラシメン為目下主ナル会社支店長買弁等ニ運動セシメ
ツツアリ当地ニ於テハ種々ノ関係ヨリ支那官憲ニ依ラズ直
接商人間ニ話ヲ進メサセ居レリ

公使ヘ転電シ上海、天津、沙市、蕪湖、宜昌ヘ暗送セリ

二七三 八月二十二日 (発)

在宜昌森岡領事ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

宜昌ノ排日狀態緩和ノ傾向及ビ外交後援会ノ
裏面活動ニ付報告ノ件

第九〇号

本官発漢口宛電報第二一号

本官着任後未タ數日ヲ出テス從テ事情詳ナラサルモ前者ノ
説明ヲ聞キ並ニ市中ノ模様ヲ見ルニ排日行列、排日宣伝ビ

二二三

ラノ撤布及貼付、舢板及人力車夫ノ日本人排斥等ハ目下其ノ跡ヲ絶チ大体ニ於テ排日状態ハ緩和ノ傾向ニアリ乍併外交後援会裏面ノ活動ハ侮リ難キモノアリテ彼等ハ努メテ交渉問題ノ口実ヲ作ルヘキ直接行動ニ移リツツアリ現ニ八月三日及十三日当地入港ノ宜陽丸ハ万県ヨリ積ミ来レル桐油壹百噸ヲ当地ニ於テ夫々大元丸ニ積換ヘントシタル処外交後援会ハ支那人夫ヲ強迫シテ大元丸積込ヲ妨ケ結局英国船ニ積出シタル事件アリ又過日大元丸支那人船員十五名カ外交後援会ニ罰金ヲ強徴セラレタル事件アリ(前者ハ事件発生当時当館ニ報告洩トナリ、後者ハ大元丸出帆後漢口ニ至リ初メテ事情判明シタリトテ本日日清出張所ヨリ一括当館ニ報告シ来レリ)

右ノ次第ナルヲ以テ本官ハ一兩日中当地警察庁長ヲ訪問シ外交後援会ノ解散並ニ排日ノ徹底の取締ヲ要求スル筈ナリ委細ハ郵報スヘキニ付其ノ上ニテ貴官ヨリモ湖北省長ニ対シ嚴重御交渉ヲ請フ

外務大臣、在支公使へ転電シ在上海総領事へ暗送セリ

~~~~~

レスト」潜ミ居ルコトヲ忘ルベカラズ、其米國サヘモ長江上流ニ於テ陸上ヨリ発砲サレタルニ対シ同國軍艦ハ直ニ応戦シテ之ヲ沈黙セシメ斃カラザル死傷ヲ生シタリトノ事ナルモ支那ハ何事モ為シ得ザルニアラズヤ云々ト露骨ニ其感想ヲ語レル事アリ、又工部局議長「シムス」前議長「ブルック、スミス」等モ我好意的讓歩ニ付ケ上ガレル支那人ノ態度ヲ非難シ近來米國式「ハイカラ」青年ノ生意氣ニシテ狡猾ナル手ノ付ケ様ナシ、之皆米國ノ対支態度一致セザル為ナリト慨嘆シタル事アリ右ハ斃クトモ有力ナル外人ノ代表的意見ト見ルヲ得ベシ

又今次ノ排日ニ関シ態度余リ面白カラザリシ商總會モ曩ニハ我商業會議所トノ間ニ機微ナル關係ヲ生シ從テ本官前任者トノ間柄モ疎遠勝チナリシ姿ナルカ本官著任後二三支那新聞記者ヨリ清水副領事ニ対シ此ノ機会ニ於テ商會側トノ接近ヲ計ルコトニ努メラレタキ旨態々通シ来レルヲ以テ不自然ナラサル時機方法ヲ択ヒ近ク日支ノ懇談会ヲ開催スル心組ナリ次ニ支那官憲ノ取締ニ付テハ別ニ取立テテ不足ヲ唱フル程ノコトナキノミナラス当面ノ責任者タル警察庁長カ本官ニ対シ租界外ニハ排日の集会ナキコトヲ注目サレ

二七四 八月二十四日(発) 在上海矢田総領事ヨリ

内田外務大臣宛(電報)

日貨抵制ヨリ國貨提唱ヘノ移行等排日運動鎮靜化ノ見通シニ付報告ノ件

第二一七号

当地排日ノ風潮ニ関シ本官着任以來考察セル結果大要次ノ如シ

長江上流地方ノ排斥執拗ナル為牽制セラルル傾アルモ当地ノ形勢ハ大体ニ於テ漸次鎮靜ニ歸シツツアリト看做サルベク而シテ排日運動者ハ資金調達ノ關係上カ又ハ一般對日感情平靜ニ復シタルヲ察シタル為カ近來其宣伝ノ眼目ヲ日貨抵制ヨリ國貨提唱ニ移シタルハ注目ニ価スト存ズ在留外人ノ意向ニ就テハ本官ノ接触セル範圍未ダ局限サレ居ルモ領事団、工部局幹部等ハ我ニ対スル同情ヨリハ寧ロ支那人ノ執拗ナル態度ニ反感ヲ起シ居ルガ如ク伊太利總領事ニ於テモ

日本ハ何故ニ斯ク迄隱忍スルヤ頗ル齒痒キ感ニ堪ヘズ、米國ノ過マレル對支政策ハ支那人ヲ「スポイル」セリ、然モ米國ノ人道主義ノ裡面ニハ常ニ「ビジネス、インテ

タシト誇リ今後ノ取締ヲ誓ヒタルカ同人從來ノ遣り口ニ微シ必スシモ一片ノ辞令ニアラサルヘシ然レトモ租界内ニハ尚多少雜輩ノ蠢動ナキニアラス徐謙馮少山等ノ主宰スル排日団体ハ依然頻繁ニ會合ヲ催シツツアリ然レトモ何レモ微微タルモノニシテ目的モ寧ロ國產獎勵ヲ主トシ現ニ八月五日ノ大会ニハ某支那紡績會社ヨリ國產提唱ノ為七百弗ノ寄付アリト報告シ其ノ際決議中ニ九月十一日國產獎勵大會開催ノ一項アルヲ見ル

尚是等ノ政治的會合ニ付工部局ニ取締ヲ要求スルコトモ考慮セサルニアラサルモ既ニ自滅的ニ下火トナリ且本官トノ交渉ハ彼等ヲ刺戟シテ却テ死灰ヲ再燃セシムル虞モアリ工部局ヨリ内密供給スル情報ニ依ルモ差シテ干渉スヘキ程ノコトモナキ模様ナレハ当分放任シテ自滅セシムル考ナリ之ヲ要スルニ新事件突發セサル限ハ当方面ノ排日ハ終熄期ニ入りツツアリ他方北支那モ亦平穩ニ歸シツツアル模様ナレハ此ノ際漢口地方ノ排日ヲ緩和シ得レハ自然四川湖南方面ニモ好影響ヲ与ヘ上流一般トノ經濟關係密接ナル当地ノ商取引ハ季節ノ轉換ト相俟テテ漸次復活期ニ入ルヘシト推測セラル

北京へ転電シ、天津、漢口、南京及杭州へ暗送セリ

二七五 八月二十七日(発) 在漢口林総領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

排日活動緩和ノ為中国側官憲ニ対シ之方取締

方更ニ勸説ノ件

第一九九号

其後当地ノ排日運動情況ハ本月初旬ノ如キ公然日貨検査ヲ為スコト無キニ至リタレドモ本邦人トノ取引支那商ヲ間接ニ圧迫シツツアルヲ以テ緩和ノ程度極メテ微弱ナリ是レ本月十六日日本官ノ督軍訪問後外交後援会ノ幹部数名ガ数度ニ亘リ督軍ヲ往訪シ居リ官憲ノ排日取締緩和ヲ懇願セル様子ナルヲ以テ督軍ノ取締方針軟化セル疑アリ從テ蕭督軍ノ各官憲ニ発セル取締訓令ハ相当ニ嚴重ナルモノナルモ其後ニ至リ約束ノ布告發布ヲ肯ゼザル為各排日団体猶活動ヲ止メズ又既ニ報告ノ通り一昨二十五日一支那人実業家ヲシテ意思疏通ノ為日支兩國ノ主ナル商人約二十人支那側ヨリ商總會總理周星棠外約十名出席シ宴会ハ無事了リタルモ昨今当地ノ漢字新聞ニハ右宴会ヲ攻撃シ出席者ヲ売国奴ト罵詈訾シ

任池永領事ヨリ報告ノ通りナル処其後当方面ノ状況別紙記載ノ如ク全然屏息セシモノトハ認メラレス依然一部ノモノノ間ニ各種集会等行ハレ時々遊行ノ催シアルモ右ハ上海漢口其他各地ノ運動ニ共鳴セントスル少数者ノ煽動ニ外ナラス一般支那人ハ極メテ冷静ニシテ從テ本邦汽船会社及本邦品取扱商ノ如キ未タ殆ト何等ノ打撃ヲ被ラス支那新聞ノ如キ本問題ニ関連シ排日の記事ヲ掲載スルモノアレトモ多クハ他地支那新聞ノ転載ニシテ過激ナル排日論評ヲ為スモノ殆トナク要スルニ当方面ノ排日運動ハ目下ノ処何等顧慮スヘキモノナク今後意外ナル事件突発セサル限り此状態ヲ持續スヘシト認メラレ候尚ホ客月二十九日当市々民遊行ノ際団体ノ代表者ハ英米独各国領事ニ面会ヲ求メ陳情書ヲ手交セントセシ次第ハ前報ノ通りナル処右三国領事中米國領事ノミ接見シ英独兩國領事ハ面会ヲ拒絕セシカ右ニ関シ英國領事ハ小官往訪ノ際此種支那人ノ行動ハ到底真面目ニ解セサルヲ以テ面会ヲ拒絕セル旨ヲ語り候

右御參考迄ニ一括及稟報候 敬具

本信写送付先 在支公使

(別紙)

タルモノスラアリ從テ乍遺憾期待セル効果ヲ顯ハサザリシ疑アリ而シテ是督軍以下官憲ノ態度ニ歸スル所ノモノ歟ナカラザルヲ以テ本官更ニ各官憲ノ勸説ニ努メツツアリ  
公使へ転電シ天津、上海、沙市、宜昌へ暗送セリ

#### 四 長 沙

二七六 四月二十三日 在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛

湖南省ニ於ケル旅大回収運動状況ニ関シ報告

ノ件

機密信第二一号 (五月七日接受)

大正十二年四月二十三日

在長沙

外務大臣伯爵 内田 康哉殿 領事 田中 莊太郎 (印)

湖南省ニ於ケル旅大回収運動ニ関シ其後ノ状況報告ノ件

湖南省ニ於ケル旅大回収運動状況ニ関シテハ已ニ客月二十八日附機密第一三三號並ニ同三十日附機密第一四四號ヲ以テ前

湖南外交後援会

四月五日午後三時ヨリ倉後街工団連合会ニ於テ各公団代表之ニ集リ連席會議開カレタリ郭亮推サレテ主席トナリ談論三時ニシテ左ノ事項ヲ議決シ解散セリ

(一) 本会ヲ名ツケテ湖南外交後援会トナス事

(二) 分業的組織ヲ議決シ分チテ文書、交渉、編輯、調査、國貨維持会、宣伝婦女部、演講、志願軍、會計、庶務ノ十部トス

(三) 各部ニ臨時左記主任ヲ置ク事

組織主任夏明、交渉主任劉撲、國貨維持主任陶鑄、文書主任郭亮、編輯主任王会悟女士、宣伝婦女主任譚敏女士、會計主任朱菊和、庶務主任譚影竹、演講主任李齊女士、志願軍主任王麓孫

(四) 討論会々費ハ本日出席ノ四十一団体ニ於テ各団一元ツツ出ス事

(五) 討論会々場ハ省教育会ヲ仮定シ交渉主任ヲシテ之レカ借用方ヲ交渉セシムル事

(六) 次回討論会開催ノ期日ハ十五日午後二時ト定ム  
長沙各工団ノ打電